

令和元年度
事業実施状況

保健総務課

1 保健所関係業務

(1) 保健所運営協議会

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：197千円 決算額：98千円】

医療・衛生・学校関係者や学識経験者、公募市民、行政機関等で構成する前橋市保健所運営協議会を開催した。

○委員区分：医療関係・衛生関係・学校関係者・学識経験者・公募市民・関係行政機関

○委員数：13人

○開催状況：

| 開催年月日 | 内容 |
|-------------|---|
| 令和元年7月9日(火) | ・前橋市保健所の概要について ・平成30年度事業実施状況について ・令和元年度予算及び事業概要について ・保健所業務の取組み状況について |

※新型コロナウイルスに係る県の方針に基づき、第二回は中止となった。

(2) 健康フェスタの実施

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：675千円 決算額586千円】

市民が元気にいきいきと生活を送ることができるよう、健康の維持・増進の啓発を目的に「健康フェスタ in まえばし2019」を開催した。

○開催期日：令和元年10月27日(日) 午前10時から午後3時30分まで

○会場：前橋プラザ元気21 1階・3階・5階

○内容：健康・保健・衛生に係る各種の体験教室など

○入場者数：約2,000人

(3) 健康危機管理対策事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：1,715千円 決算額：1,682千円】

① 新型インフルエンザ等関係対策

新型インフルエンザ等の発生に対応するため、マスク、防護服、消毒薬、医薬材料等の物品の購入を行った。

② 前橋市災害医療保健対策会議(訓練)の開催

大規模災害時の保健医療活動に係る体制整備についての通知が国から都道府県知事宛てに発出されたことなどに伴い、前橋地域における災害発生時(発災直後)の前橋市災害医療保健対策会議の活動内容及び関係機関との連携について確認及び課題の抽出を行うため、令和元年12月8日(日)に訓練を実施した。

(4) 保健衛生統計調査事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：1,771千円 決算額：1,405千円】

令和元年度は、次のとおり保健・衛生に係る統計調査を実施した。

| 調査名 | 調査目的 | 令和元年度実績 |
|----------------------|--|------------------------|
| 人口動態調査 | 人口動態事象(出生・死亡・死産・婚姻・離婚)を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得る。 | 毎月報告 |
| 国民生活基礎調査 (大規模調査年) | 国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するために実施。 | 調査日：6月6日 調査地区数：17地区 |

2 医療保健関係業務

(1) 救急医療事業

市医師会や市内の病院の協力のもと、休日や夜間などの急病やけがに対応するため、症状に応じた救急医療体制を確保するための事業を行った。

① 統合型医療情報システム(昭和 55 年度～)

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：93 千円 決算額：93 千円】

群馬県が県全域を対象とした救急医療情報センターを整備し、増大する救急医療の需要に対処するため、医療機関と患者搬送機関をコンピューターと通信回線網により連結し、応需可能な医療機関の検索を容易にするとともに有効利用を図るシステムである。

平成 10 年度から、災害時にも対応できる機能を付加した新システムに更新され、平成 27 年度から、救急搬送支援システム、広域災害・救急医療情報システム及び医療・薬局機能情報システムの 3 システムを統合した「統合型医療情報システム」が稼動した。

○市内端末機設置数(令和 2 年 4 月 1 日現在)

| 端末機の種類 | 設置数 | 内容 |
|--------|------|---|
| 診療所設置 | 1 台 | 救急告示診療所 診療可否、空床有無の情報収集 |
| 病院設置 | 10 台 | 救急告示及び救急協力病院 (うち 4 病院が災害拠点病院) 科別診療可否、科別空床数の情報収集 |

○災害拠点病院

群馬中央病院、前橋赤十字病院、済生会前橋病院、群馬大学医学部附属病院

○主な災害情報

患者の転送要請、受入可能患者数、医薬品の備蓄、ライフライン情報など

② AED【自動体外式除細動器】の設置(平成 17 年度～)・貸出(平成 26 年度～)

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：15,019 千円 決算額：13,806 千円】

市民の救急救命率を向上するため、市内コンビニエンスストア及び市有施設等へ心肺蘇生機器である AED(自動体外式除細動器)を設置するとともに、市内において各種行事等を主催する団体等へ AED の貸出を行った。

また、平成 30 年 10 月 1 日から広告付きの AED を県内で初めて設置した。これにより広告ポスター 1 件につき 1 台の AED を無償で設置できるようになった。

<年度別市有施設等設置台数>

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 設置台数 | 37 台 | 34 台 | 43 台 | 53 台 | 89 台 |

※1 上記の台数は、本事業に係る設置台数のみ。

※2 上記の平成 30 年度の設置台数のうち 18 台(15 施設)は広告付き AED 無償設置分

<市有施設等の AED 設置状況>(各年度 4 月 1 日現在)

市有施設等における AED の設置状況を把握するため、毎年度、設置状況調査を行っている。

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 設置施設数 | 224 施設 | 235 施設 | 245 施設 | 251 施設 | 254 施設 |
| 設置台数 | 240 台 | 250 台 | 261 台 | 270 台 | 273 台 |

※平成 25 年度からは、前橋工科大を除いた数。

<コンビニ設置台数> (令和2年4月1日現在)

| | セブンイレブン | ローソン | ミニストップ | ファミリーマート | デイリーヤマザキ |
|------|---------|------|--------|----------|----------|
| 設置台数 | 83台 | 36台 | 12台 | 14台 | 2台 |

<AED貸出状況>

| 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 貸出件数 | 36件 | 39件 | 44件 | 37件 | 54件 |

※貸出用AEDは4台(保健総務課3台、粕川支所1台)で運用

③ 前橋市救急医療懇話会運営補助事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：167千円 決算額：59千円】

救急医療に関係する医療機関及び団体が、救急医療業務を円滑に進めるために組織する前橋市救急医療懇話会の運営及び活動に対して補助金を交付した。

④ 前橋市メディカルコントロール協議会(平成21年度～)

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：267千円 決算額：176千円】

本市におけるメディカルコントロール体制の充実を図るため、前橋市メディカルコントロール協議会を開催し、救急救命士が行う救急業務に対する指示及び指導体制の調整、症例検討会の実施等を行った。

(2) 夜間急病診療所運営事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：123,431千円 決算額：122,400千円】

夜間の急病患者に対する応急診療を行うため、前橋市医師会へ業務委託を行い、夜間急病診療所を開設した。

- 所在地 前橋市朝日町四丁目9番5号
- 開設年月日 昭和52年8月24日
- 診療開始年月日 昭和52年9月6日
- 事業主体 前橋市
- 運営業務 公益社団法人前橋市医師会
- 診療科目 内科、小児科
- 診療日 毎日(年中無休)
- 診療時間 午後8時～午前0時(インフルエンザ流行に伴い、平成31年4月7日から令和元年5月26日まで及び、令和元年12月1日から令和2年3月29日までの日曜祝日午前9時～正午に臨時開設した)
- 診療体制
 - 一診療日につき
 - 医師 2人(内科、小児科 各1人)(前橋市医師会員の輪番制)
 - 薬剤師 1人、GW・年末年始・1月の土日祝日、臨時開設2人(前橋市薬剤師会員の輪番制)
 - 看護師 平日2人、土日祝日・GW・年末年始等、臨時開設3人
 - 事務員 1人、年末年始・臨時開設2人
- 敷地面積 1,983.22㎡

<診療内容別患者数>

(単位：人)

| 年度 | 区分 | 内科 | 小児科 | 外科 | 耳鼻科 | 眼科 | その他 | 計 |
|--------|----|-------|-------|----|-----|----|-----|-------|
| 平成27年度 | | 5,362 | 3,842 | 32 | 182 | 12 | 35 | 9,465 |
| 平成28年度 | | 5,271 | 4,483 | 26 | 157 | 23 | 24 | 9,984 |
| 平成29年度 | | 4,899 | 4,431 | 36 | 158 | 22 | 10 | 9,556 |
| 平成30年度 | | 4,902 | 4,013 | 34 | 143 | 29 | 23 | 9,144 |
| 令和元年度 | | 4,420 | 3,775 | 30 | 139 | 6 | 22 | 8,392 |

<病院別転送患者数調>

(単位：人)

| 病院名・区分 | | 年度 | | | | |
|--------|------|----------|----------|----------|----------|-------|
| | | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
| 日赤病院 | 転送患者 | 100 | 147 | 135 | 132 | 123 |
| | 入院患者 | 33 | 56 | 35 | 48 | 36 |
| 中央病院 | 転送患者 | 82 | 99 | 106 | 120 | 90 |
| | 入院患者 | 36 | 47 | 46 | 50 | 40 |
| 協立病院 | 転送患者 | 32 | 34 | 31 | 29 | 23 |
| | 入院患者 | 13 | 8 | 9 | 4 | 4 |
| 済生会病院 | 転送患者 | 17 | 24 | 22 | 25 | 26 |
| | 入院患者 | 13 | 11 | 7 | 13 | 10 |
| 群大病院 | 転送患者 | 33 | 27 | 24 | 34 | 30 |
| | 入院患者 | 6 | 5 | 10 | 10 | 7 |
| その他 | 転送患者 | 7 | 4 | 3 | 9 | 10 |
| | 入院患者 | 3 | 0 | 1 | 5 | 1 |
| 計 | 転送患者 | 271 | 335 | 321 | 349 | 302 |
| | 入院患者 | 104 | 127 | 108 | 130 | 98 |

(3) 病院群輪番制病院運営事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：87,581千円 決算額：87,579千円】

前橋市夜間急病診療所（夜間）若しくは在宅当番医制（休日）で対応できない重病・重症患者又は平日夜間及び土日祝日の救急搬送患者を受入れる二次搬送病院として、前橋赤十字病院、群馬中央病院、群馬県済生会前橋病院、群馬大学医学部附属病院の4病院に当番病院制を委託した。

（在宅当番医からの搬送は平成6年度～）

- 診療科目 内科・外科、産婦人科
小児科（県の委託事業）
- 診療時間 (内科・外科) 土日祝日 午前9時～翌日午前9時
平日夜間 午後6時～翌日午前9時
(産婦人科) 休日昼間 午前9時～午後6時

(4) 休日（在宅）当番医制事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：11,868千円 決算額：12,233千円】

休日診療（内科、小児科、外科、婦人科、耳鼻科、眼科）を実施し、休日における市民の救急医療を確保した。

- 周知方法 市広報及び前橋市医師会ホームページで休日の当番医を予め市民に周知し、当日の新聞に掲載する。
- 実施機関 公益社団法人前橋市医師会
- 実施体制 内科、小児科 4か所（年末年始 小児科を1か所増設）
外科 2か所
婦人科 1か所（高崎市との隔週当番）
耳鼻科 1か所（ " ）
眼科 1か所（ " ）
- 診療時間 午前9時～午後6時

(5) 休日歯科診療所補助事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：5,478千円 決算額：5,478千円】

休日における市民の歯科診療を確保するために、休日歯科診療所事業に対し補助金を交付した。

- 所在地 前橋市岩神町二丁目19番9号
- 開設者 前橋市歯科医師会
- 開設年月日 昭和46年4月4日
- 診療日 日曜・祝日、お盆、年末年始
- 診療時間 午前10時～正午、午後1時～3時
(年末年始 午前10時～正午、午後1時～午後4時)
- 診療状況

| 年度 | 区分 | 一般(人) | 小児(人) | 計(人) | 診療日(日) |
|--------|----|-------|-------|------|--------|
| 平成27年度 | | 673 | 36 | 709 | 75 |
| 平成28年度 | | 669 | 39 | 708 | 74 |
| 平成29年度 | | 612 | 20 | 632 | 74 |
| 平成30年度 | | 631 | 28 | 659 | 76 |
| 令和元年度 | | 777 | 29 | 806 | 79 |

(6) 医療施設・設備整備補助事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：399千円 決算額：14,424千円】

市民の保健医療を充実させるため、前橋市歯科医師会(休日歯科診療所)及び病院群輪番制病院の医療設備整備事業等に対し、補助金を支出した。

| 医療機関名 | 整備内容 | 金額(円) |
|----------|------------------------|------------|
| 前橋市歯科医師会 | 歯科用多目的超音波治療器、口腔内撮影装置導入 | 399,000 |
| 前橋赤十字病院 | 人工呼吸器更新 | 3,575,000 |
| 群馬中央病院 | 外科用X線テレビシステム更新 | 10,450,000 |

(7) 医療従事者等養成事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：22,229千円 決算額：22,168千円】

臨床研修医及び看護学生の実地研修の実施並びに看護師等養成所の運営費を補助し、医療従事者等の養成を支援した。

臨床研修医研修は、保健所設置した平成21年度から受け入れている。

① 保健医療福祉学生を対象とした受入状況

| 学校名 | | 年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | |
|---------|---------------|-----|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|--|--|
| | | 日数 | 人数 | 日数 | 人数 | 日数 | 人数 | 日数 | 人数 | 実人数 | 日数 | 延べ人数 | | |
| 保健師 | 群馬県立県民健康科学大学 | 13 | 53 | 12 | 48 | 12 | 48 | 12 | 36 | 21 | 14 | 73 | | |
| | 群馬大学 | 13 | 74 | 14 | 79 | 17 | 194 | 22 | 171 | 38 | 23 | 181 | | |
| | 群馬大学大学院 | - | - | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 桐生大学 | 12 | 36 | 12 | 36 | 13 | 52 | 12 | 52 | 3 | 13 | 37 | | |
| | 千葉大学 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 高崎健康福祉大学 | 12 | 96 | 12 | 96 | 24 | 96 | 12 | 48 | 4 | 12 | 48 | | |
| | 群馬パース大学 | 24 | 129 | 14 | 112 | 24 | 96 | 24 | 84 | 4 | 12 | 48 | | |
| | 群馬医療福祉大学 | 13 | 52 | 13 | 39 | 13 | 39 | 13 | 39 | 2 | 13 | 26 | | |
| | 東京医科歯科大学 | 5 | 5 | - | - | - | - | 12 | 12 | - | - | - | | |
| 聖路加国際大学 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | | | |
| 看護師 | 前橋市医師会立高等看護学院 | 2 | 82 | 2 | 94 | 7 | 74 | 7 | 45 | 37 | 7 | 37 | | |
| 歯科衛生士 | 群馬県高等歯科衛生士学院 | 1 | 48 | 1 | 48 | 9 | 56 | 10 | 47 | 54 | 8 | 54 | | |
| 医師 | 群馬大学 | 41 | 60 | 10 | 30 | 12 | 28 | 20 | 46 | 26 | 18 | 53 | | |
| | 信州大学 | - | - | 1 | 1 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | | |
| | 新潟大学 | 2 | 2 | 2 | 4 | - | - | 2 | 2 | - | - | - | | |
| | 獨協医科大学 | 4 | 8 | 4 | 8 | 4 | 12 | 4 | 8 | 4 | 4 | 16 | | |
| 歯科医師 | 新潟大学 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 獣医師 | 麻布大学 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 作業療法士 | 群馬大学 | 1 | 20 | 6 | 30 | 5 | 10 | 6 | 18 | 2 | 5 | 10 | | |
| 管理栄養士 | 桐生大学 | - | - | - | - | 5 | 5 | 5 | 10 | 2 | 5 | 10 | | |
| | 女子栄養大学 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 高崎健康福祉大学 | 5 | 25 | 5 | 25 | - | - | 6 | 12 | 3 | 5 | 15 | | |
| | 東京家政大学 | - | - | 6 | 12 | - | - | 6 | 6 | - | - | - | | |
| | 東洋大学 | - | - | 6 | 6 | 5 | 10 | 6 | 12 | - | - | - | | |
| | 山梨学院大学 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 5 | 5 | | |
| 合計 | | 152 | 694 | 123 | 671 | 152 | 722 | 179 | 648 | 202 | 145 | 614 | | |

※平成27年度～平成30年度の人数は延べ人数

② 医師臨床研修「地域保健・医療」研修状況

| 年度 所属病院 | 平成 27 年度 | | 平成 28 年度 | | 平成 29 年度 | | 平成 30 年度 | | 令和元年度 | | |
|-----------------|----------|----|----------|----|----------|----|----------|----|---------|----|----------|
| | 日数 | 人数 | 日数 | 人数 | 日数 | 人数 | 日数 | 人数 | 実 人数 | 日数 | 延べ 人数 |
| 群馬大学医学部 附属病院 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 前橋赤十字病院 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 済生会前橋病院 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 17 | 17 |
| 合 計 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 17 | 17 |

※平成 27 年度～平成 30 年度の人数は延べ人数

③ 看護師等養成所運営補助

看護に対する市民の関心と理解を深めるとともに、看護師及び准看護師の確保を促進し、もって市内における保健医療体制の充実を図るため、市内の看護師等養成所 3 校の運営に係る経費の一部を補助した。

(8) 群馬大学医学部学会補助事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：450 千円 決算額：300 千円】

市内で開催される群馬大学医学部が関係する保健福祉分野に貢献する各種学会に対して補助金を交付した。

| 学会名等 | 開催日 |
|------------------------|--------------------|
| 第 15 回群馬がん看護フォーラム | 令和元年 5 月 25 日 |
| 第 66 回北関東医学会総会 | 令和元年 9 月 26 日～27 日 |
| 第 83 回日本泌尿器科学会群馬地方会 | 令和元年 11 月 16 日 |
| 第 211 回日本小児科学会群馬地方会 | 令和元年 12 月 7 日 |
| 第 17 回群馬リハビリテーション医学研究会 | 令和 2 年 2 月 15 日 |
| 第 57 回群馬放射線腫瘍研究会 | 令和 2 年 2 月 15 日 |

(9) 骨髄移植ドナー支援事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：280 千円 決算額：280 千円】

骨髄等の提供者及びドナー登録者の増加を図り、もって骨髄等移植を推進するため、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者に対し、助成金を交付した。

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 助成金交付件数 | 1 件 | 3 件 | 1 件 | 2 件 | 2 件 |

3 衛生関係業務

(1) 高齢者に優しい銭湯づくり等推進事業（昭和51年度～）

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：500千円 決算額：0千円】

高齢者や障害者が安心して公衆浴場を利用できるように、公衆浴場の設備改善経費の一部を補助する。

○補助金交付先：該当する公衆浴場

○補助金交付状況： (単位：円)

| 区分 \ 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 補助金額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(2) 公衆浴場経営安定化事業（昭和48年度～）

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：489千円 決算額：356千円】

悪化している公衆浴場の経営を安定させるため、上・下水道料金及び固定資産税の一部を各公衆浴場に対し補助した。

○補助上限額：①と②の合計額

① 上・下水道料金の2分の1

② 固定資産税相当額の3分の1（平成3年度～）

※平成7年度から固定資産税相当額の3分の2は減免されている。

○補助金交付状況 (単位：円)

| 区分 \ 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 補助金額 | 721,000 | 783,000 | 750,000 | 484,000 | 356,000 |

4 医事薬事関係業務

医療施設や薬局などに対する許認可や監視、指導を通じて、市民が安心して利用できる環境づくりに取り組んだ。

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：1,532千円 決算額：1,279千円】

(1) 医事関係事業

病院や診療所、助産所、施術所などに対する許認可や監視、指導を実施した。

① 病院・診療所等の施設数

| 施設区分 \ 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 病院 | 21 | 21 | 21 | 21 | 20 |
| 一般診療所 | 有床 | 22 | 22 | 22 | 19 |
| | 無床 | 324 | 322 | 321 | 323 |
| 歯科診療所 | 199 | 198 | 198 | 198 | 199 |
| 助産所 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 |

② 病院・診療所の病床数

| 施設区分 | | 年度 | | | | |
|-------|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 病院 | 一般病床 | 3,148 | 3,103 | 3,103 | 3,044 | 3049 |
| | 療養病床 | 408 | 408 | 408 | 408 | 382 |
| | 結核病床 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| | 精神病床 | 923 | 923 | 902 | 922 | 922 |
| | 感染病床 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | 合 計 | 4,496 | 4,451 | 4430 | 4,391 | 4365 |
| 一般診療所 | 一般病床 | 301 | 315 | 315 | 283 | 248 |
| | 療養病床 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| | 合 計 | 315 | 329 | 329 | 297 | 262 |

③ 施術所等の施設数

| 施設区分 | | 年度 | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 施術所 | あん摩・鍼灸 | 243 | 248 | 257 | 266 | 268 |
| | 柔道整復 | 164 | 168 | 169 | 175 | 176 |
| 歯科技工所 | | 79 | 80 | 81 | 80 | 81 |
| 衛生検査所 | | 9 | 9 | 9 | 9 | 8 |

④ 病院・診療所等への立入検査件数

| 施設区分 | | 年度 | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 病 院 | 医療監視 | 20 | 21 | 26 | 24 | 20 |
| | 使用前検査 | 4 | 7 | 4 | 7 | 5 |
| 一般診療所(有床) | 医療監視 | 6 | 5 | 7 | 8 | 5 |
| | 使用前検査 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 一般診療所(無床) | | 13 | 7 | 10 | 9 | 12 |
| 歯科診療所 | | 6 | 5 | 7 | 2 | 6 |
| 助産所 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

⑤ 施術所等への立入検査件数

| 施設区分 | | 年度 | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 施術所 | あん摩・鍼灸 | 10 | 14 | 10 | 18 | 6 |
| | 柔道整復 | 9 | 5 | 5 | 10 | 6 |
| 歯科技工所 | | 2 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 衛生検査所 | | 3 | 5 | 4 | 4 | 4 |

(2) 薬事関係事業

薬局などに対する許認可や監視、指導のほか、薬物乱用防止の啓発活動や温泉利用施設への立入検査を実施した。

① 薬局等の施設数と監視の状況

| 施設等区分 | | 年度 | | | | | |
|-------------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
| 医薬品医療機器等法関係 | 薬局 | 施設数 | 151 | 155 | 156 | 154 | 159 |
| | | 監視数 | 49 | 58 | 63 | 52 | 46 |
| | 薬局製造販売医薬品製造販売業 | 施設数 | 5 | 4 | 4 | 2 | 2 |
| | | 監視数 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 薬局製造販売医薬品製造業 | 施設数 | 5 | 4 | 4 | 2 | 2 |
| | | 監視数 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 店舗販売業（一般販売業及び薬種商販売業を含む） | 施設数 | 78 | 76 | 79 | 82 | 86 |
| | | 監視数 | 27 | 47 | 28 | 37 | 19 |
| | 卸売販売業（卸売一般販売業を含む） | 施設数 | 40 | 40 | 40 | 45 | 46 |
| | | 監視数 | 15 | 6 | 14 | 12 | 11 |
| | 特例販売業 | 施設数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | 監視数 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 高度管理医療機器等販売業・貸与業 | 施設数 | 204 | 208 | 207 | 211 | 214 |
| | | 監視数 | 47 | 100 | 45 | 36 | 38 |
| | 管理医療機器販売業・貸与業 | 施設数 | 799 | 890 | 901 | 947 | 975 |
| | | 監視数 | 94 | 179 | 126 | 109 | 98 |
| 再生医療等製品販売業※ | 施設数 | - | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | 監視数 | - | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| 毒劇法関係 | 一般販売業 | 施設数 | 139 | 136 | 132 | 138 | 140 |
| | | 監視数 | 47 | 39 | 36 | 42 | 18 |
| | 農薬用品目販売業 | 施設数 | 31 | 33 | 33 | 31 | 31 |
| | | 監視数 | 6 | 27 | 1 | 14 | 0 |
| | 特定品目販売業 | 施設数 | 7 | 5 | 5 | 5 | 4 |
| | | 監視数 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 |
| | 業務上取扱者（電気めっき事業） | 施設数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 監視数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※平成28年4月1日より、群馬県から本市に移譲

② 薬物乱用防止啓発活動

「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」のスローガンの下、薬物乱用防止前橋地区推進連絡会議の構成員並びに構成団体の協力による薬物乱用防止に向けた各種啓発活動を実施した。

| 開催日 | 事業名(会場) | 活動内容 | 対象者数 |
|------------------|-----------------------------|--|-----------------|
| 令和元年6月中旬から7月中旬まで | 薬物乱用防止に係る懸垂幕の設置 | 懸垂幕を活用した薬物乱用防止啓発活動 | — |
| 令和元年6月26日 | 6・26ヤング街頭キャンペーン(JR前橋駅、新前橋駅) | 6・26国際麻薬乱用撲滅デーに合わせ、全国で一斉に行われる啓発活動 | 約5,068人 |
| 令和元年8月25日 | 第45回ホリデーインまえばし(敷島公園) | 夏休みの青少年向けイベントにおける啓発活動。麻薬探知犬のデモンストラクション等を実施 | 約8,842人 |
| 令和元年10月27日 | 健康フェスタ(前橋プラザ元気21) | 健康フェスタ来場者への啓発活動 | 約500人 |
| 令和元年12月23日 | 出前講座 | 薬物乱用防止教室 | 約360人 |
| 令和2年2月14日 | 出前講座 | 薬物乱用防止教室 | 約96人 |
| 通年 | 薬物乱用防止指導員による啓発活動 | 市内の小・中・高校における啓発活動 | 13校 5,780人 |
| | 各地域における啓発活動 | 各地区の集会、街頭等における啓発活動 | 延べ35回 9,100人 |

③ 温泉利用施設の監視指導

県が実施する源泉調査に協力するとともに、温泉利用許可施設における温泉の適正利用、管理状況について監視、指導を実施した。

| 温泉地名 | 源泉名 | 利用区分 | 泉質名 |
|---------|---------|------|--|
| 前橋温泉 | 医王薬師の湯 | 浴用 | Na塩化物温泉(低張性弱アルカリ性高温泉) |
| 前橋荻窪温泉 | あいのやまの湯 | 浴用 | Na・Ca塩化物温泉(高張性弱アルカリ性高温泉) |
| 前橋駅前温泉 | くりまの湯 | 浴用 | Na塩化物温泉(低張性中性高温泉) |
| 前橋松並木温泉 | 天の川源泉 | 浴用 | Na塩化物温泉(低張性弱アルカリ性高温泉) |
| 鎌倉温泉 | 鎌倉の湯 | 浴用 | Na塩化物・炭酸水素塩温泉(低張性弱アルカリ性温泉) |
| 大胡温泉 | 三山の湯 | 浴用 | 温泉法第二条の別表に規定するメタけい酸の項により温泉に適合ただし療養泉には該当しないので泉質名はない |
| 赤城温泉 | 新島の湯 | 浴用 | Ca・Mg・Na炭酸水素塩温泉(低張性中性高温泉) |
| | 久保田の湯 | 浴用 | Ca・Mg・Na炭酸水素塩温泉 |
| 赤城高原温泉 | 手の湯、島の湯 | 浴用 | 温泉法第二条の別表に規定するメタけい酸の項により温泉に適合ただし療養泉には該当しないので泉質名はない |
| 滝沢温泉 | 滝沢の湯 | 浴用 | Ca・Na・Mg炭酸水素塩冷鉱泉(低張性中性冷鉱泉) |
| 粕川温泉 | ささらの湯 | 浴用 | アルカリ性単純温泉(低張性アルカリ性温泉) |
| 粕川中之沢温泉 | みはらしの湯 | 浴用 | 温泉法第二条の別表に規定するメタけい酸の項により温泉に適合ただし療養泉には該当しないので泉質名はない |
| 富士見温泉 | 見晴らしの湯 | 浴用 | Na・Ca塩化物温泉(高張性中性高温泉) |
| 前橋南温泉 | 利休の湯 | 浴用 | Na炭酸水素塩・塩化物温泉(低張性弱アルカリ性高温泉) |

※表は、前橋市内で温泉利用されている源泉の種類

5 医療従事者等免許受付業務

厚生労働大臣及び群馬県知事の医療従事者等免許証に係る申請・受付・交付等の経由事務を行った。

① 厚生労働大臣免許

(単位：件)

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | | | | | 平成30年度 |
|------------|----|-------|-----|-----|-----|-----|--------|
| | | 計 | 新規 | 書換 | 再交付 | 抹消等 | 計 |
| 医 師 | | 99 | 54 | 33 | 0 | 12 | 102 |
| 歯 科 医 師 | | 17 | 10 | 4 | 1 | 2 | 8 |
| 薬 剤 師 | | 60 | 25 | 31 | 3 | 1 | 57 |
| 管 理 栄 養 士 | | 36 | 27 | 9 | 0 | 0 | 64 |
| 保 健 師 | | 138 | 48 | 90 | 0 | 0 | 101 |
| 助 産 師 | | 19 | 8 | 11 | 0 | 0 | 23 |
| 看 護 師 | | 451 | 231 | 214 | 6 | 0 | 334 |
| 診療放射線技師 | | 13 | 9 | 4 | 0 | 0 | 18 |
| 臨床検査技師 | | 37 | 24 | 12 | 1 | 0 | 30 |
| 衛生検査技師 | | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 理学療法士 | | 61 | 41 | 18 | 2 | 0 | 55 |
| 作業療法士 | | 23 | 14 | 9 | 0 | 0 | 37 |
| 歯科技工士 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 視能訓練士 | | 6 | 3 | 3 | 0 | 0 | 4 |
| 死体解剖資格認定申請 | | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合 計 | | 964 | 497 | 439 | 13 | 15 | 834 |

※書換には、籍訂正及び名簿訂正を含む。

② 県知事免許

(単位：件)

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | | | | | 平成30年度 |
|---------------|----|-------|-----|----|-----|-----|--------|
| | | 計 | 新規 | 書換 | 再交付 | 抹消等 | 計 |
| 准 看 護 師 | | 109 | 84 | 21 | 3 | 1 | 111 |
| 診療エックス線技師 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 栄 養 士 | | 54 | 37 | 17 | 0 | 0 | 97 |
| 調 理 師 | | 69 | 49 | 9 | 11 | 0 | 100 |
| 製 菓 衛 生 師 | | 21 | 19 | 1 | 1 | 0 | 32 |
| ク リ ー ニ ン グ 師 | | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 受胎調節実地指導員 | | 5 | 3 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 合 計 | | 263 | 197 | 50 | 15 | 1 | 349 |

※抹消等には、証明願、英文証明及び合格証明を含む。

健康増進課

1 健康増進業務

(1) 健康教育・健康相談事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：2,917千円 決算額：2,398千円】

生活習慣病の予防やその他健康の保持増進に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるため各種の健康教育を実施した。

①健康教育

| 年 | | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | |
|----------------------|---------------------------|--|--|---|--|--|---------|
| 度区分 | | | | | | | |
| 個別健康教育 (禁煙チャレンジ塾) | 回数 | 18 回 | 21 回 | 18 回 | 19 回 | 19 回 | |
| | 人数 | 81 人 | 121 人 | 70 人 | 115 回 | 89 回 | |
| 各種健康 増進教室 | 回数 | 344 回 | 501 回 | 555 回 | 487 回 | 430 回 | |
| | 人数 | 11,837 人 | 16,870 人 | 17,536 人 | 17,825 人 | 17,513 人 | |
| 各種健康 増進教室 内訳 | 病態別健康教室 (糖尿病・腎臓病編) | 回数 | 8 回 | 6 回 | 8 回 | 8 回 | 8 回 |
| | | 人数 | 153 人 | 134 人 | 136 人 | 90 人 | 161 人 |
| | 女性の健康づくりに関 する健康教室 | 回数 | 3 回 | 2 回 | 4 回 | 5 回 | 4 回 |
| | | 人数 | 110 人 | 28 人 | 95 人 | 145 人 | 122 人 |
| | 栄養に関する 健康教室 | 回数 | 69 回 | 72 回 | 75 回 | 38 回 | 39 回 |
| | | 人数 | 2,026 人 | 2,008 人 | 2,044 人 | 665 人 | 859 人 |
| | 運動に関する 健康教室 | 回数 | 24 回 | 52 回 | 105 回 | 116 回 | 92 回 |
| | | 人数 | 589 人 | 2,350 人 | 2,287 人 | 2,709 人 | 2,538 人 |
| | 市民健康講座・ 研修会 | 回数 | 6 回 | 6 回 | 5 回 | 5 回 | 5 回 |
| | | 人数 | 626 人 | 561 人 | 620 人 | 599 人 | 593 人 |
| | いきいき 健康教室等 | 回数 | 231 回 | 349 回 | 344 回 | 299 回 | 265 回 |
| | | 人数 | 8,085 人 | 11,514 人 | 11,271 人 | 10,889 人 | 9,644 人 |
| | スマイル健診 結果説明会 | 回数 | 3 回 | 3 回 | 3 回 | 3 回 | 3 回 |
| | | 人数 | 117 人 | 115 人 | 88 人 | 85 人 | 77 人 |
| | 健康イベント (健康アップ体験 会等) | 日数 | 3 日 | 4 日 | 4 日 | 4 日 | 4 日 |
| | | ブース | 7 ブース | 11 ブース | 11 ブース | 13 ブース | 14 ブース |
| 人数 | | 生活習慣病：418 栄養：429 運動：131 たばこ：103 歯科：279 | 生活習慣病：492 栄養：1,291 運動：160 たばこ：243 歯科：200 | 生活習慣病：473 栄養：881 運動：995 歯科：195 | 生活習慣病：770 栄養：1,026 運動：155 たばこ：494 歯科：198 | 生活習慣病：158 栄養：1,707 運動：701 たばこ：473 歯科：480 | |
| 保健推進員への支援 | 回数 | 221 回 | 232 回 | 272 回 | 266 回 | 366 回 | |
| | 人数 | 5,701 人 | 6,713 人 | 7,629 人 | 7,335 人 | 6,266 人 | |
| 食生活改善推進員へ の支援 | 回数 | 213 回 | 214 回 | 179 回 | 182 回 | 121 回 | |
| | 人数 | 2,813 人 | 2,936 人 | 2,396 人 | 2,043 人 | 1,836 人 | |

※個別健康教育については初回面接後の電話・面接フォローも参加延べ人員に入れている。

※女性の健康づくりに関する健康教室は、更年期の教室に加え、平成29年度から骨粗鬆症検診事後教室を開催している。

※栄養に関する教室は、平成30年度から園児を対象とした事業を廃止し、保護者や保育士等への指導に変更したため減少している。

※いきいき健康教室等は、市内各種団体の要望による教室内容・開催会場で実施する健康教室。地区組織への健康教育も含む。

※健康イベントは各テーマのブースを設置、それぞれの参加人数を計上している。

※保健推進員への支援については、協議会総会・研修会等の回数・人数を加えて計上している。
 ※食生活改善推進員への支援については、役員会・理事会・協議会総会・地区総会・研修等の回数と人数を加えて計上している。

②健康相談

| 区分 | | 年度 | | | | |
|---------------------------|----|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| | | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
| 窓口健康相談 | | 1,544 人 | 1,302 人 | 1,726 人 | 1,121 人 | 458 人 |
| 電話健康相談 | | 503 人 | 494 人 | 120 人 | 643 人 | 1,404 人 |
| 健康イベント (健康アップ 体験会等) | 回数 | 3 日間 11ブース | 4 日間 9ブース | 4 日間 8ブース | 4 日間 18ブース | 4 日間 13ブース |
| | 人数 | 2,241 人 | 1,648 人 | 1,221 人 | 1,382 人 | 1,154 人 |
| その他の 健康相談 | 回数 | 122 回 | 146 回 | 117 回 | 126 回 | 102 回 |
| | 人数 | 4196 人 | 4252 人 | 3,503 人 | 4,220 人 | 3,883 人 |

※令和元年度より受診シールに関する相談について、郵送対応したものは電話相談として計上した。

(2) 健康診査事業

循環器疾患やがんなど生活習慣病の早期発見・早期治療の一環として各種健康診査を実施した。

① 市同時検査

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：110,213 千円 決算額：81,895 千円】

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査、後期高齢者健康診査並びに健康増進法に基づく健康診査と同時に、病気の早期発見・早期治療を目的とした追加検査（市同時検査）を実施した。

| 年度 | 区分 | 対象者数 (人) | 受診者数 (人) | 受診率 (%) |
|----------|----|-------------|-------------|------------|
| 平成 27 年度 | | 115,529 | 47,980 | 41.5 |
| 平成 28 年度 | | 117,984 | 47,946 | 40.6 |
| 平成 29 年度 | | 119,093 | 48,012 | 40.3 |
| 平成 30 年度 | | 211,955 | 48,000 | 22.6 |
| 令和元年度 | | 212,535 | 48,541 | 22.8 |

※特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康増進健康診査と同時に実施する市独自健康診査を含めた健診の総称を「新さわやか健康診査」とし実施していたが、平成 25 年度から総称を廃止し、市独自健康診査については「市同時検査」とした。

※対象者数は、40 歳以上のがん検診に用いる対象者数

② がん検診

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：1,127,491千円 決算額：1,211,600千円】

がんの早期発見によりがん死亡の減少を図るため、各種がん検診を実施した。

※国の指針に基づき、対象者数を平成30年度から対象年齢に該当する全住民に変更した。対象者を拡大したことにより、受診率は急落しているが、実際の受診率は平成29年度と同水準

※精検受診数・がん発見数は未確定のため、一部空欄となっている。

ア 胃がん検診

胃がんの早期発見及び予防を図るため、胃がん検診を実施した。

| 区分 年度 | 対象数 | 受診数 | | | 受診率 | 検診結果 | | | | | | |
|----------|---------|-----|--------|--------|------|--------|-------|--------|-----|-----|------------------|----------------|
| | | | | | | 異常認めず | 要精検 | 要観察 | 要治療 | その他 | 精検受診数(率) | がん発見数(率) |
| 平成27年度 | 116,785 | X線 | 7,550 | 36,095 | 30.9 | 6,308 | 502 | 738 | 1 | 1 | 663 (80.5%) | 55 (0.15%) |
| | | 内視鏡 | 28,545 | | | 9,563 | 322 | 18,184 | 476 | — | | |
| 平成28年度 | 117,984 | X線 | 6,544 | 35,958 | 30.5 | 5,599 | 377 | 566 | 2 | — | 1,729 (93.6%) | 114 (0.32%) |
| | | 内視鏡 | 29,414 | | | 9,892 | 1,471 | 17,829 | 222 | — | | |
| 平成29年度 | 119,093 | X線 | 5,676 | 36,111 | 30.3 | 4,893 | 307 | 475 | 1 | — | 1,625 (96.2%) | 146 (0.40%) |
| | | 内視鏡 | 30,435 | | | 10,944 | 1,382 | 17,935 | 174 | — | | |
| 平成30年度 | 211,955 | X線 | 5,233 | 36,379 | 17.2 | 4,418 | 281 | 533 | 1 | — | 1,438 (95.5%) | 118 (0.32%) |
| | | 内視鏡 | 31,146 | | | 11,512 | 1,224 | 18,252 | 158 | — | | |
| 令和元年度 | 212,535 | X線 | 4,870 | 36,236 | 17.0 | 4,134 | 224 | 507 | 5 | — | | |
| | | 内視鏡 | 31,366 | | | 13,581 | 1,108 | 16,677 | 0 | — | | |

※対象者：40歳以上の人

※精検受診率の許容値70%以上、がん発見率の許容値0.11%以上としている。

※平成18年度から、従来の胃部エックス線検査か内視鏡検査を選択して受診できるようにした。

※平成27年度X線検診結果「その他」は読影不能

※平成28年度から一次生検実施者の診断区分は要精密検査扱いとした。

イ 大腸がん検診

大腸がんの早期発見及び予防を図るため、大腸がん検診を実施した。

| 区分 年度 | 対象数 | 受診数 | 受診率 | 検診結果 | | | |
|----------|---------|--------|------|--------|-------|---------------|-------------|
| | | | | 異常認めず | 要精検 | 精検受診数(率) | がん発見数(率) |
| 平成27年度 | 115,529 | 44,043 | 38.1 | 40,505 | 3,538 | 2,631 (74.4%) | 130 (0.30%) |
| 平成28年度 | 117,984 | 43,523 | 36.9 | 39,998 | 3,525 | 2,636 (74.8%) | 156 (0.36%) |
| 平成29年度 | 119,093 | 43,209 | 36.3 | 39,961 | 3,248 | 2,383 (73.4%) | 130 (0.30%) |
| 平成30年度 | 211,955 | 43,227 | 20.4 | 40,019 | 3,208 | 2,478 (77.2%) | 121 (0.28%) |
| 令和元年度 | 212,535 | 43,396 | 20.4 | 40,117 | 3,279 | | |

※対象者：40歳以上の人

※精検受診率の許容値70%以上、がん発見率の許容値0.13%以上としている。

ウ 子宮頸がん検診

子宮がんの早期発見及び予防を図るため、子宮頸がん検診を実施した。

| 区分 年度 | 対象数 | 受診数 | 受診率 | 検診結果 | | | | | |
|----------|---------|--------|------|-----------|-----|-------|---------|--------------|--------------|
| | | | | 異常 認めず | 要精検 | 要観察 | 要 治療 | 精検受診数 (率) | がん発見数 (率) |
| 平成27年度 | 83,552 | 22,610 | 27.1 | 20,450 | 530 | 1,391 | 239 | 394(74.3%) | 11(0.05%) |
| 平成28年度 | 83,899 | 22,825 | 27.2 | 20,789 | 458 | 1,353 | 225 | 340(74.2%) | 16(0.07%) |
| 平成29年度 | 84,305 | 21,938 | 26.0 | 19,856 | 340 | 1,440 | 302 | 309(90.9%) | 8(0.03%) |
| 平成30年度 | 145,566 | 22,060 | 15.2 | 20,324 | 362 | 1,134 | 240 | 335(93.6%) | 5(0.02%) |
| 令和元年度 | 145,382 | 22,569 | 15.5 | 20,781 | 438 | 1,004 | 346 | | |

※平成17年度から、20歳以上の女性を対象者（それ以前は30歳以上の女性が対象）とした。

※平成20年度から、子宮頸部がん検診のみとした。

※対象者：20歳以上の女性。平成26年度より細胞診をベセスダシステムのみとした。

※精検受診率の許容値70%以上、がん発見率の許容値0.05%以上としている。

※平成29年度から、要精検者を細胞診が陰性の場合には該当しないこととした。

エ 乳がん（甲状腺）検診

乳・甲状腺がんの早期発見及び予防を図るため、乳がん（甲状腺）検診を実施した。

| 区分 年度 | 対象者 | 受診者 | | 受診率 | 検診結果 | | | | | |
|----------|---------|-----|--------|------|-----------|---------|---------|---------|--------------|--------------|
| | | 乳 | 甲 | | 異常 認めず | 要精 検 | 要 観察 | 要 治療 | 精検受診数 (率) | がん発見数 (率) |
| 平成27年度 | 70,172 | 乳 | 18,967 | 27.0 | 18,041 | 770 | 154 | 2 | 698(90.6%) | 53(0.28%) |
| | | 甲 | 18,967 | | | | | | | |
| 平成28年度 | 71,474 | 乳 | 18,941 | 26.5 | 17,951 | 862 | 128 | 0 | 803(93.2%) | 56(0.30%) |
| | | 甲 | 18,941 | | | | | | | |
| 平成29年度 | 72,066 | 乳 | 18,550 | 25.7 | 17,635 | 786 | 127 | 2 | 756(96.2%) | 58(0.31%) |
| | | 甲 | 18,550 | | | | | | | |
| 平成30年度 | 111,633 | 乳 | 18,534 | 16.6 | 17,651 | 755 | 128 | 0 | 739(97.9%) | 63(0.34%) |
| | | 甲 | 18,532 | | | | | | | |
| 令和元年度 | 111,895 | 乳 | 19,079 | 17.1 | 18,169 | 801 | 109 | 0 | | |
| | | 甲 | 19,076 | | | | | | | |

※平成17年度から、国の指針に基づき、40歳以上の女性を対象者（それ以前は30歳以上の女性が対象）とし、視触診とマンモグラフィ（乳房エックス線検査）のセット検査とした。

※平成19年度から平成22年度まで、対象者：①40歳以上の偶数年齢の女性 ②41歳以上の奇数年齢で前年度未受診者とした。

※平成23年度から対象者を40歳以上の女性とした。（国の方針は、隔年受診）

※平成24年度のみ集団検診において、甲状腺検診は未実施

※乳がん検診：精検受診率の許容値80%以上、がん発見率の許容値0.23%以上としている。

オ 前立腺がん検診

前立腺がんの早期発見及び予防を図るため、平成18年度から前立腺がん検診を実施した。

| 区分 年度 | 対象数 | 受診数 | 受診率 | 検診結果 (人) | | | | |
|----------|--------|--------|------|----------|-------|-----|--------------|-----------|
| | | | | 異常認めず | 要精検 | その他 | 精検受診数 (率) | がん発見数 (率) |
| 平成27年度 | 40,961 | 17,272 | 42.2 | 15,855 | 1,392 | 25 | 880(63.2%) | 75(0.43%) |
| 平成28年度 | 42,065 | 17,173 | 40.8 | 15,695 | 1,453 | 25 | 842(57.9%) | 96(0.56%) |
| 平成29年度 | 42,608 | 17,190 | 40.3 | 15,673 | 1,488 | 29 | 1,007(67.6%) | 94(0.55%) |
| 平成30年度 | 75,556 | 17,285 | 22.9 | 15,684 | 1,587 | 14 | 1,102(69.4%) | 94(0.54%) |
| 令和元年度 | 76,230 | 17,362 | 22.8 | 15,770 | 1,585 | 7 | | |

※対象者：50歳以上の男性

カ 胸部（結核・肺がん）検診

肺がん・結核の早期発見及び予防を図るため、胸部（肺がん・結核）検診として実施した。

| 区分 年度 | 対象数 | 受診数 | | 受診率 | 検診結果 | | | | | |
|----------|---------|----------|-------|------|--------|-------|-------|-----|------------------|---------------|
| | | (再掲：喀痰数) | | | 異常認めず | 要精検 | 要観察 | その他 | 精検受診数 (率) | がん発見数 (率) |
| 平成27年度 | 115,529 | 49,868 | | 43.2 | 41,210 | 1,523 | 7,134 | 1 | 1,276 (83.8%) | 39 (0.08%) |
| | | 喀痰 | 2,838 | | | | | | | |
| 平成28年度 | 117,984 | 49,738 | | 42.2 | 41,474 | 1,340 | 6,921 | 3 | 1,152 (86.0%) | 45 (0.09%) |
| | | 喀痰 | 2,794 | | | | | | | |
| 平成29年度 | 119,093 | 49,433 | | 41.5 | 41,057 | 1,551 | 6,825 | 0 | 1,358 (87.6%) | 43 (0.09%) |
| | | 喀痰 | 2,688 | | | | | | | |
| 平成30年度 | 211,955 | 49,517 | | 23.4 | 41,763 | 1,344 | 6,408 | 2 | 1,201 (89.4%) | 48 (0.10%) |
| | | 喀痰 | 2,560 | | | | | | | |
| 令和元年度 | 212,535 | 50,238 | | 23.6 | 42,944 | 1,203 | 6,091 | 0 | | |
| | | 喀痰 | 2,488 | | | | | | | |

※対象者：40歳以上の人

※X線は全員受診

平成27年度からハイリスク対象者変更（喀痰検査者は50歳以上で喫煙指数600以上のみ）

※要精検者数は、X線判定がDE又は喀痰細胞診判定がDEとなった者

※がん発見数は、X線判定Dよりがんが発見された数も含む。

※精検受診率の許容値70%以上、がん発見率の許容値0.03%以上としている。

キ その他

◇新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

<個別の受診再勧奨>

一定の年齢の前年度及び当該年度未受診者に、受診再勧奨はがきを送付することで検診の受診を促し、受診率向上を図る。

令和元年度は胃がん、子宮頸がん、乳がん検診未受診者へ受診勧奨はがきを送付した。

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 胃がん | 年齢 | 50歳 | 65歳 | — | — | 合計 |
| | 再勧奨者数 | 4,875 | 3,559 | — | — | 8,434 |
| | 受診者数 | 406 | 327 | — | — | 733 |
| | 受診率 | 8.3% | 9.2% | — | — | 8.7% |
| 子宮頸がん | 年齢 | 20歳 | 25歳 | 30歳 | 35歳 | 合計 |
| | 再勧奨者数 | 1,627 | 1,493 | 1,360 | 1,499 | 5,979 |
| | 受診者数 | 42 | 97 | 142 | 170 | 451 |
| | 受診率 | 2.6% | 6.5% | 10.4% | 11.3% | 7.5% |
| 乳がん | 年齢 | 40歳 | 45歳 | 50歳 | 55歳 | 合計 |
| | 再勧奨者数 | 2,014 | 2,099 | 1,980 | 1,730 | 7,823 |
| | 受診者数 | 358 | 168 | 135 | 127 | 788 |
| | 受診率 | 17.8% | 8.0% | 6.8% | 7.3% | 10.1% |

※胃がん検診は、50歳は全員に送付、65歳は前年度及び当該年度未受診者に送付

※子宮頸がん・乳がん検診は、前年度及び当該年度未受診者に送付

<精密検査未受診者に対する受診再勧奨>

前年度がん検診を受診し精密検査と判断されたが未受診だった者に対して、精密検査の再勧奨を行うことで着実に精密検査を受診させることにより、がんの早期発見につなげる。

平成30年度から、胸部、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診の未受診者を対象に実施した。

| がん種別 | 区分 | 通知数 | 通知後受診数 | 受診率 | 受診結果内訳 | 精検未受診率（～74歳） | |
|---------|----|-----|--------|-------|---|--------------|-------|
| | | | | | | 通知前 | 通知後 |
| 胸部検診 | | 158 | 46 | 29.1% | その他の疾患：34件 異常なし：12件 | 11.2% | 7.7% |
| 胃がん検診 | | 84 | 19 | 22.6% | 早期胃がん：0件 その他の疾患：17件 異常なし：2件 | 7.3% | 5.4% |
| 大腸がん検診 | | 861 | 198 | 23.0% | 早期がん：8件 進行がん：4件 その他の疾患：130件 異常なし：56件 | 24.9% | 18.6% |
| 子宮頸がん検診 | | 56 | 37 | 66.1% | 上皮性腫瘍：21件 がん疑い：3件 その他の疾患：1件 異常なし：12件 | 17.3% | 5.1% |
| 乳がん検診 | | 30 | 14 | 46.7% | 乳がん疑い：1件 乳がん：2件 その他の疾患：4件 異常なし：7件 | 3.7% | 1.9% |

※胸部・大腸がん検診（40歳～74歳）・胃がん検診（X線40歳～74歳、内視鏡50歳～74歳）の精検未受診率の許容値は20%以下、目標値は5%以下

子宮頸がん検診の精検未受診率（20歳～74歳）の許容値は20%以下、目標値は5%以下

乳がん検診の精検未受診率（40～74歳）の許容値は10%以下、目標値は5%以下

③ 肝炎ウイルス検診

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：5,561千円 決算額：5,548千円】

自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受けて医療機関に受診することにより、肝炎による健康被害を回避し症状を軽減し進行を遅延させるため肝炎ウイルス検診を実施した。

| 年度 | 区分 | 対象者 (人) | 受診者 (人) | C型肝炎 ウイルス検査 (人) | HBs抗原 検査 (人) | 受診率 (%) |
|--------|-------|------------|------------|-----------------------|--------------------|------------|
| 平成27年度 | 節目検診 | 1,363 | 613 | 611 | 613 | 45.0 |
| | 節目外検診 | - | 1,591 | 1,591 | 1,591 | - |
| 平成28年度 | 節目検診 | 1,338 | 538 | 538 | 537 | 40.2 |
| | 節目外検診 | - | 1,301 | 1,300 | 1,301 | - |
| 平成29年度 | 節目検診 | 1,283 | 557 | 557 | 557 | 43.4 |
| | 節目外検診 | - | 1,040 | 1,036 | 1,040 | - |
| 平成30年度 | 節目検診 | 4,210 | 496 | 496 | 496 | 11.8 |
| | 節目外検診 | - | 1,048 | 1,048 | 1,047 | - |
| 令和元年度 | 節目検診 | 4120 | 516 | 516 | 516 | 12.5 |
| | 節目外検診 | - | 1074 | 1074 | 1074 | - |

※対象者（平成19年度から）

※節目：40歳の人

※節目外：41歳以上の人で過去5年間に受診機会を逃した人、並びに過去に肝機能異常を指摘されたことがある人、広範な外科的処置を受けたことのある人又は妊娠・分娩時に多量の出血をしたことがある人で定期的に肝機能検査を受けていない人

<肝炎ウイルス検診結果>

| 年度 | 区分 | C型肝炎ウイルス検診結果（人） | | HBs抗原検査結果（人） | |
|--------|-------|------------------|------------------|--------------|-------|
| | | 感染している 可能性が高い | 感染している 可能性が低い | 陽性 | 陰性 |
| 平成27年度 | 節目検診 | 0 | 611 | 1 | 612 |
| | 節目外検診 | 21 | 1,570 | 6 | 1,585 |
| 平成28年度 | 節目検診 | 0 | 538 | 1 | 536 |
| | 節目外検診 | 16 | 1,284 | 6 | 1,295 |
| 平成29年度 | 節目検診 | 0 | 557 | 0 | 557 |
| | 節目外検診 | 9 | 1,027 | 3 | 1,037 |
| 平成30年度 | 節目検診 | 2 | 494 | 1 | 495 |
| | 節目外検診 | 7 | 1,041 | 2 | 1,045 |
| 令和元年度 | 節目検診 | 0 | 516 | 1 | 515 |
| | 節目外検診 | 7 | 1067 | 2 | 1072 |

※平成25年度より、C型肝炎ウイルス検診結果区分が変更（「感染している可能性が極めて高い」→「感染している可能性が高い」、「感染していない可能性が極めて高い」→「感染している可能性が低い」）

④ 骨粗鬆症検診

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：11,715千円 決算額：11,308千円】

骨量の減少した人を早期に発見し、骨粗鬆症を予防するために骨粗鬆症検診を実施した。

| 年度 | 区分 | 対象者 (人) | 受診者 (人) | 受診率 (%) | 検診結果 (人) | | | |
|--------|----|------------|------------|------------|----------|-------|-----|----|
| | | | | | 異常認めず | 要指導 | 要精検 | 備考 |
| 平成27年度 | | 8,917 | 4,374 | 49.1 | 2,863 | 1,058 | 453 | - |
| 平成28年度 | | 8,845 | 4,318 | 48.8 | 2,946 | 984 | 388 | - |
| 平成29年度 | | 8,793 | 4,779 | 54.4 | 3,236 | 1,170 | 373 | - |
| 平成30年度 | | 16,208 | 4,537 | 28.0 | 3,072 | 1,130 | 335 | - |
| 令和元年度 | | 16,221 | 4,614 | 28.4 | 3,028 | 1,196 | 390 | - |

※対象者：40・45・50・55・60・65・70歳の女性

⑤ 成人歯科健康診査

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：11,916千円 決算額：13,012千円】

高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防するために成人歯科健康診査を実施した。

| 年度 | 区分 | 対象者 (人) | 受診者 (人) | 受診率 (%) | 健診結果 (人) | | | |
|--------|----|------------|------------|------------|----------|-----|-------|----|
| | | | | | 異常認めず | 要指導 | 要精検 | 備考 |
| 平成27年度 | | 17,157 | 1,956 | 11.4 | 243 | 158 | 1,555 | - |
| 平成28年度 | | 16,906 | 1,896 | 11.2 | 152 | 544 | 1,200 | - |
| 平成29年度 | | 16,796 | 2,165 | 12.9 | 125 | 547 | 1,493 | - |
| 平成30年度 | | 46,338 | 2,588 | 5.6 | 154 | 681 | 1,753 | - |
| 令和元年度 | | 46,249 | 2,823 | 6.1 | 170 | 716 | 1,937 | - |

※対象者：20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の人

※平成24年度から5歳ごとの対象にした。

※平成25年度から周知名称を「成人歯科検診」とした。

※平成28年度から周知名称を「成人歯科健康診査」とした。

※平成30年度から20歳、25歳を対象に加えた。

⑥ 健康増進歯科健康診査

未永く食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失など口腔機能低下を予防するために実施した。

| 対象者数 | 受診者数 | 受診率 | 健診結果 (人) | | |
|------|------|------|----------|-----|---------|
| | | | 異常なし | 要指導 | 要精査・要治療 |
| 117人 | 7人 | 6.0% | 1人 | 1人 | 5人 |

※対象者：前年度に75歳に達した前橋市生活保護受給者及び中国残留邦人等に対する支援給付対象者

実施回数：同一人について年1回

2 健康づくり業務

(1) 保健推進員活動

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：8,064千円 決算額：7,776千円】

乳幼児から成人・高齢者までの市民の健康づくりを推進するため、地域に密着して保健推進員活動を行った。

| 区分 \ 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------------------|---------|---------|---------|--------|--------|
| 推進員数 | 658人 | 658人 | 655人 | 655人 | 652人 |
| 地区 | 23地区 | 23地区 | 23地区 | 23地区 | 23地区 |
| 母子保健活動分 (母性・乳幼児・その他) | 10,339件 | 10,308件 | 11,278件 | 9,681件 | 6,536件 |
| 成人・老人活動分 | 17,600 | 16,475 | 15,507 | 13,928 | 11,054 |
| 地区活動分 | 20,472 | 19,962 | 16,955 | 16,529 | 13,611 |
| 合計 | 48,411 | 46,745 | 43,740 | 40,138 | 31,201 |

※令和元年度は、平成31年4月～令和2年1月までの集計。

(2) 食生活改善推進員活動

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：3,852千円 決算額：3,542千円】

栄養・食生活の改善及び市民の健康づくりのための運動を啓発普及した。

| 区分 \ 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 推進員数 | 345人 | 386人 | 365人 | 385人 | 367人 | |
| 地区 | 23地区 | 23地区 | 23地区 | 23地区 | 23地区 | |
| 栄養教室 | 回数 | 120回 | 159回 | 161回 | 199回 | |
| | 人数 | 14,847人 | 16,934人 | 16,457人 | 14,258人 | 19,982人 |
| その他の活動 | 件数 | 10,368件 | 11,891件 | 9,096件 | 8,113件 | 7,979件 |
| | 人数 | 43,443人 | 46,036人 | 46,908人 | 39,963人 | 39,533人 |

(3) 食生活改善推進員養成(健康大学)事業

一般市民から受講生を募り、健康の保持増進に必要な栄養・運動・休養に関する正しい知識を普及させ、修了者で健康増進事業に熱意を有する者は、食生活改善推進員として地域で活動を行った。

(単位：人)

| 区分 \ 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 養成人数 | 48 | 36 | 28 | 14 | 32 |

(4) 訪問指導事業

健康づくりや各種健康診査の受診勧奨など訪問による指導等を保健師等が実施した。

単位：人

| 区分 | | 年度 | | | | |
|-----------------|-----|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 要指導者等 | 実人員 | 85 | 53 | 47 | 23 | 20 |
| | 延人員 | 87 | 54 | 47 | 28 | 29 |
| その他 (受診勧奨など) | 実人員 | 1,001 | 1,103 | 80 | 79 | 45 |
| | 延人員 | 1,041 | 1,177 | 80 | 96 | 55 |
| 39歳以下 | 実人員 | 65 | 61 | 42 | 3 | 2 |
| | 延人員 | 67 | 63 | 42 | 3 | 2 |
| 保健師等従事者延人員 | | 241 | 178 | 74 | 83 | 60 |

※その他は65歳以上も含む。

※平成26年度から、管理栄養士・歯科衛生士の訪問を含む。

※平成28年度までは61歳女性を対象とした受診勧奨訪問を行っていたが、平成29年度から糖尿病重症化予防訪問へ転換し、ハイリスク者への訪問指導を実施している。

(5) スマイル健康診査事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：9,719千円 決算額：8,283千円】

「健康まえばし21」を推進する一助として、若い世代の健康診査の機会を設け、疾病の予防や早期発見、早期治療により自らの健康管理の充実を図った。

単位：人

| 年度 | 受診者 | | | 異常なし | | | 要指導 | | | 要医療 | | |
|--------|-----|-------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 平成27年度 | 262 | 1,100 | 1,362 | 42 | 291 | 333 | 166 | 720 | 886 | 54 | 89 | 143 |
| 平成28年度 | 293 | 1,170 | 1,463 | 40 | 273 | 313 | 181 | 766 | 947 | 72 | 131 | 203 |
| 平成29年度 | 223 | 1,049 | 1,272 | 34 | 195 | 229 | 130 | 708 | 838 | 59 | 146 | 205 |
| 平成30年度 | 212 | 1,022 | 1,234 | 44 | 115 | 159 | 124 | 773 | 897 | 44 | 134 | 178 |
| 令和元年度 | 213 | 985 | 1,198 | 30 | 109 | 139 | 123 | 759 | 882 | 60 | 117 | 177 |

※対象者：18歳～39歳までの希望者

(6) 前橋市健康づくり推進協議会

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：427千円 決算額：254千円】

本市における総合的な健康づくり対策を推進するため、前橋市健康づくり推進協議会を設置した。委員の任期は2年、人数19名。また、前橋市健康づくり推進協議会委員から会長が指名し、健康まえばし21計画推進部会を置いた。

平成26年度に、前橋市健康増進計画「健康まえばし21」（第2次計画）を策定し、毎年、「健康まえばし21ちらし」を作成している。平成30年度に中間評価を行い、平成31年度から後期計画開始となる。会議開催は年2回

(7) 前橋市食育推進会議

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：337千円 決算額：274千円】

食育基本法第33条第1項の規定に基づき条例で設置されており、本市における食育推進計画「元気 まえばし 食育プラン」の普及啓発及び効果的な実施の推進を図るために開催した。委員の任期は2年、人数は19名、会議開催は年2回

(8) 前橋市みんなですすめる歯と口腔の健康づくり連絡会議

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：210千円 決算額：201千円】

歯と口腔の健康づくりを効果的に推進するため開催した。委員の任期は2年、人数15名。会議開催は年2回。

保健予防課

1 精神保健福祉業務

(1) 心の健康づくり推進事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：7,822千円 決算額：6,607千円】

精神障害者の早期治療の促進並びに精神障害者の社会復帰及び自立と社会経済活動への参加の促進を図るとともに、市民の心の健康の保持増進を図るための諸活動を行った。

① 精神保健福祉相談

嘱託精神科医師による相談(定期・予約制)、保健師・精神保健福祉士による来所・電話相談や家庭訪問を実施した。

| 年度 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | 定期相談 | 33回 | 34回 | 35回 | 37回 | 21回 |
| | 実施回数 | | | | | |
| 嘱託医師 | 延人数 | 58人 | 54人 | 54人 | 72人 | 32人 |
| | 実施回数 | 0回 | 0回 | 0回 | 2回 | 2回 |
| 若者のこころの相談 | 延人数 | 0人 | 0人 | 0人 | 2人 | 2人 |
| | 実施回数 | | | | | |
| 来所相談 | (延人数) | 437人 | 639人 | 341人 | 551人 | 487人 |
| 電話相談 | (延人数) | 2,741人 | 3,335人 | 1,916人 | 1,920人 | 2,530人 |
| 家庭訪問 | 実人数 | 115人 | 136人 | 123人 | 161人 | 161人 |
| | 延人数 | 371人 | 469人 | 281人 | 262人 | 300人 |

② 保護申請等の処理^[m1]

精神保健福祉法に基づく措置入院に係る通報受理等については、群馬県精神科救急情報センターにおいて県内一元化されており、本市保健所では、退院後の医療継続や生活支援に重点を置いた活動を行った。

(単位：件)

| 年度 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 区分 | 通報・申請・届出 | 86 | 82 | 61 | 74 | 59 |
| 内訳 | 法第22条申請 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 法第23条通報 | 65 | 57 | 33 | 49 | 40 |
| | 法第24条通報 | 7 | 7 | 9 | 7 | 5 |
| | 法第25条通報 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 法第26条通報 | 14 | 18 | 19 | 18 | 14 |
| | 法第26条の2届出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 措置診察該当者数 | | 60 | 57 | 33 | 51 | 41 |
| 措置診察結果 | 措置入院 | 19 | 19 | 12 | 16 | 14 |
| | 医療保護入院 | 17 | 22 | 14 | 19 | 14 |
| | 任意入院 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 応急入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 帰宅 | 24 | 16 | 7 | 14 | 11 |
| 年度末措置入院者数 | | 3 | 5 | 6 | 4 | 4 |

③ 支援会議[m2]

通報等により措置入院または医療保護入院となった者、医療観察法の対象者等に対し、本人、家族、関係者が集まり退院後の医療継続や生活支援のための検討を行った。また、対応困難者に対する支援の検討を行った。

| 区分 | | 年度 | | | | |
|---------------|-----|----------|----------|----------|----------|-------|
| | | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
| 通報・申請届出による入院者 | 実件数 | 14 件 | 19 件 | 17 件 | 13 件 | 12 件 |
| | 延件数 | 14 件 | 19 件 | 19 件 | 14 件 | 4 件 |
| 医療観察法対象者 | 実件数 | 4 件 | 7 件 | 10 件 | 4 件 | 2 件 |
| | 延件数 | 10 件 | 11 件 | 28 件 | 17 件 | 14 件 |
| 相談等 | 実件数 | 29 件 | 12 件 | 15 件 | 21 件 | 18 件 |
| | 延件数 | 33 件 | 12 件 | 19 件 | 28 件 | 10 件 |

④ 普及啓発

精神保健福祉やこころの健康について関心を持つとともに、地域で生活する精神障害者への理解を深め、ともに生きる地域づくりを目指して、研修会等を開催した。

ア 精神保健福祉関係職員研修[m3]

介護支援専門員を対象に研修会を行った。

| 区分 | 開催日 | 参加者数 [m4] | 内容 |
|-----|--------------------|--------------|------------------------|
| 第1回 | 令和元年 11 月 20 日 (水) | 36 人 | 精神疾患への正しい理解、保健所の業務について |
| 第2回 | 令和元年 11 月 27 日 (水) | 32 人 | ピアサポーター、家族会による講話 |

イ その他

実務者を対象に普及啓発を行った。

| 回数 | 参加人数 | 内容 |
|-----|------|------------------------------------|
| 2 回 | 60 人 | 支援実務者を対象に精神障害をテーマに講演 (社会福祉課、介護事業所) |

[m5]

⑤ 組織活動支援

精神障害者家族会、自助グループ、精神保健福祉ボランティアなど組織運営等に関する相談、援助、助言指導を行った。

| 区分 | 会員数 | 支援件数 |
|-------------------|------|------|
| 前橋精神障害者家族会 (あざみ会) | 66 人 | 12 件 |
| 自助グループ等 (AA等) | — | 12 件 |
| その他 (KHJ等) [m6] | — | 8 件 |

⑥ 自殺対策

自殺対策の一環として、啓発キャンペーンや研修会等を実施。また、総合的な対策のため、各関係機関と連携を図るネットワーク研修会を開催した。 [m7]

〈普及啓発〉

| 区 分 | 実 施 日 | 場 所 | 内 容 |
|---------------------|-------------------------------|--------------------------------|---|
| 健康アップ体験会 | 令和元年6月20日(木) 令和元年9月20日(金) | 市内ショッピングモール | イベント開催に合わせ、自殺予防、うつ病等についての啓発を実施。啓発物配布数：1,2[m8][m9]07 |
| 健康フェスタ in まえばし | 令和元年10月27日(日) | 前橋プラザ元気21 | 健康フェスタ in まえばしの中でブースを設け、こころの健康についての啓発を実施。啓発物配布数：1,212 |
| ブックキャンペーン | 令和元年8月20日(火)～ 令和元年9月8日(日) | 市立図書館大胡分館 | 図書館で自殺予防関連の書籍を集めたコーナーの設置や啓発ポスター展示、啓発物の配布を実施。啓発物配布数：[m10]1,638 |
| | 令和元年9月10日(火)～ 令和元年9月29日(日) | 市立図書館桂萱分館 | |
| | 令和2年2月26日(水)～ 令和2年3月29日(日) | 市立図書館本館 | |
| 自殺予防週間 群馬県自殺予防月間 | 令和元年9月1日(日)～ 令和元年9月30日(月) | 保健所及び市役所庁舎、各支所、市民サービスセンター、図書館等 | 自殺予防週間(9/10～9/16)及び群馬県自殺予防月間(9月)に合わせポスター掲示 |
| 自殺対策強化月間 | 令和2年3月1日(日)～ 令和2年3月31日(火) | | 自殺対策強化月間(3月)に合わせ広報に特集記事掲載、懸垂幕の掲示、ラジオ放送、自殺予防啓発カード・ポケットティッシュ配布。啓発物配布数：2,180 |

〈研修会・会議〉

| 区 分 | 実 施 日 | 実 施 状 況 |
|-----------------|---------------|--|
| 市民健康講座 | 令和元年8月29日(木) | 内容：うつ病のサインについて 対象：市民、受講者数：46人 場所：第二コミュニティセンター[m11] |
| ゲートキーパー 養成研修 | 実施回数17回 | 受講者数：903人 |
| 自殺予防実務者研修会 | 令和元年6月26日(水) | 対象：庁内関係職員、受講者数：34人 場所：市役所 |
| | 令和元年11月12日(水) | 対象：市内・庁内関係職員、受講者数：35人 場所：総合福祉会館[m12][m13] |
| 自殺対策推進協議会 | 令和元年8月28日(水) | 出席者：25人 場所：第二コミュニティセンター[m14] |
| 自殺対策庁内推進会議・幹事会 | 令和元年7月23日(火) | 出席者：27人 場所：市役所 |

⑦ ひきこもり対策事業

ひきこもりの長期化を防ぐため、家族が集まり、当事者への支援方法を検討するため教室と講演会を開催した。

<ひきこもりの若者の家族の教室>

| 回数 | 延参加人数 | 内 容 |
|----|-------|------------|
| 9回 | 94人 | グループワーク、講義 |

<ひきこもりの若者の家族の教室（講演会）>

| 実施日 | 延参加人数 | 内 容 |
|--------------|-------|-----------------------------|
| 令和元年8月26日（月） | 42人 | ひきこもりが元気になるために家族ができること[m15] |

2 難病対策業務

(1) 難病患者地域支援事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：27,373千円 決算額：26,503千円】

患者等の療養上の不安解消を図るとともに、きめ細やかな支援が必要な要支援難病患者に対する適切な在宅療養支援が行えるよう、保健所を中心として地域医療機関、福祉部等の関係機関との連携の下に事業を行った。

① 特定疾病医療給付事務

群馬県知事から委託を受け、特定疾病医療給付の申請等受付を行った。

(単位：件)

| 区 分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 特定疾病医療給付申請書（新規申請者用）の受理 | 452 | 405 | 419 | 377 | 387 |
| 特定疾病医療給付承認内容変更（追加・転入）届の受理 | 1,055 | 1,309 | 1,339 | 1,610 | 1,119 |
| 特定疾病医療給付中止（終了）届の受 | 271 | 184 | 124 | 185 | 198 |
| 特定疾病医療費請求書の受理 | 631 | 544 | 580 | 778 | 584 |
| 特定疾病医療給付申請書（更新者用）の受理 | 2,576 | 2,591 | 2,592 | 2,511 | 2,572 |

② 医療等相談事業

難病患者や家族が病気についての理解を深め、より良い療養生活を送れるように、医師等による講演会及び患者、家族の交流会を開催した。

(延人数)

| 開催日 | 内 容 | 対象疾患 | 参加人数 |
|---------------|--------------|-------------------|------|
| 令和元年5月22日（水） | 講話（リハビリ）・交流会 | 多系統萎縮症 脊髄小脳変性症 | 15人 |
| 令和元年5月31日（金） | 医師講話・交流会 | | 20人 |
| 令和元年6月12日（水） | 医師講話・交流会 | パーキンソン病 | 34人 |
| 令和元年6月20日（木） | | | 35人 |
| 令和元年11月13日（水） | 医師講話・交流会 | 特発性拡張型心筋症 | 22人 |
| 令和元年11月20日（水） | 講話（栄養）・交流会 | | 18人 |

③ 訪問・相談指導事業

来所や電話での相談や筋萎縮性側索硬化症の療養者を中心とした家庭訪問を実施した。

<家庭訪問>

(単位：人)

| 疾患名 | 訪問実人数 | 訪問延人数 |
|----------------|-------|-------|
| 筋萎縮性側索硬化症(ALS) | 24 | 44 |
| 多系統萎縮症(MSA) | 8 | 13 |
| 脊髄小脳変性症(SCD) | 5 | 9 |
| 多発性筋炎 | 1 | 3 |
| 令和元年度 計 | 38 | 69 |
| 平成30年度 計 | 37 | 76 |
| 平成29年度 計 | 46 | 95 |
| 平成28年度 計 | 45 | 107 |

< 来所相談・電話相談 >

(単位:件)

| 年度 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 来所 (延件数) | 78 | 119 | 104 | 103 | 86 |
| 電話 (延件数) | 1,199 | 1,117 | 1,168 | 1,014 | 854 |

④ 在宅療養支援計画策定・評価事業

難病の在宅療養者を対象に関係機関と密接な連携を図りながら総合的なサービス提供のため支援者会議を開催した。また、所内で定期的に事例検討会を開催した。

| 年度 区分 | 保健所主催 | | 他機関主催 | | 所内事例検討 | |
|----------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 実施回数 | 延参加者数 | 参加回数 | 延出席者数 | 実施回数 | 延参加者数 |
| 平成27年度 | 2回 | 25人 | 42回 | 334人 | 10回 | 75人 |
| 平成28年度 | 1回 | 3人 | 30回 | 261人 | 5回 | 31人 |
| 平成29年度 | 4回 | 13人 | 31回 | 263人 | 5回 | 27人 |
| 平成30年度 | 0回 | 0人 | 25回 | 247人 | 5回 | 29人 |
| 令和元年度 | 2回 | 10人 | 24回 | 222人 | 5回 | 32人 |

⑤ 難病療養支援実務者研修会

医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等を対象に研修会を実施した。

| 開催日 | 内容 | 参加人数 |
|---------------|-----------------------------------|------|
| 令和元年5月22日(水) | リハビリ講演会(神経・筋疾患療養相談会と同時開催) | 7人 |
| 令和元年5月31日(金) | 医療講演会(神経・筋疾患療養相談会と同時開催) | 16人 |
| 令和元年7月31日(水) | 講話・グループトーク「知って得する!より良い支援のための制度理解」 | 105人 |
| 令和元年12月17日(火) | 講話「頻発する災害への対応を考える」 演習「HUG研修」 | 29人 |

⑥ 難病対策地域協議会(群馬県・前橋市・高崎市の共同設置)

難病患者及び家族の支援体制に関する課題の情報共有、関係機関等の連携を図るとともに、県内における難病対策のあり方や体制の整備等について協議する。

| 回数 | 委員数 |
|----|-----|
| 1回 | 14人 |

⑦ 特定医療費(指定難病)支給認定更新申請費用助成事業

特定医療費(指定難病)更新申請手続きをされた方に対して助成金(当該年度の更新申請1回

につき 5,000 円、2 疾患目以降については、1 疾患につき 5,000 円上乗せ) を支給する。更新申請と同時に受付を行う。

| | |
|---------|--------------|
| 申請者数 | 助成額 |
| 2,545 人 | 12,990,000 円 |

(2) 小児慢性特定疾病児童等の支援事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：62,271 千円 決算額：87,925 千円】

慢性疾患により長期にわたり養育を必要とする児童に対し、当該疾患の治療にかかる医療費等を給付すると共に、必要な情報の提供や相談・助言を行い児童の自立や成長の支援を行う。

① 小児慢性特定疾病医療費支給認定事務

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり養育を必要とする児童に対し、医療給付を行う。

| 区 分 | 処理件数 |
|---------------------|-------|
| 小児慢性特定疾病医療給付（新規申請者） | 38 件 |
| 小児慢性特定疾病医療給付（更新申請者） | 244 件 |

② 小児慢性特定疾病審査会

小児慢性特定疾病医療費の支給申請の内容について、適正かつ慎重に審査する。

| | |
|-----|------|
| 回数 | 参加者数 |
| 9 回 | 55 人 |

③ 慢性疾病児童等地域支援協議会（群馬県・前橋市・高崎市の共同設置）

地域において疾病児童等の自立を支援することを目的とし、関係機関の連携・情報共有・地域における課題検討を行い、自立支援が総合的に実施されるよう協議する。

| | |
|-----|------|
| 回数 | 委員数 |
| 1 回 | 17 人 |

④ 県外通院費助成制度

小児慢性特定疾病における県外医療機関への通院の際に要した交通費の一部を助成する。

| | |
|--------|-------------|
| 制度利用者数 | 助成額 |
| 38 人 | 1,163,631 円 |

(3) 難病患者見舞金支給事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：9,082 千円 決算額：9,583 千円】

難病の患者に対する医療等に関する法律(平成 26 年法律第 50 号)第 5 条第 1 項に規定する指定難病により医療給付を受けている方及び児童福祉法に規定する疾病による小児慢性特定疾病給付に該当している方に見舞金(36,000 円)を患者一人当たり一回に限り支給する。(平成 28 年度から、患者一人当たり一回限りの支給、保健予防課所管)

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 受給者数(人) | 3,688 | 2,882 | 252 | 349 | 266 |
| 金額(千円) | 129,652 | 103,752 | 9,072 | 12,564 | 9,576 |

3 感染症対策業務

(1) 予防接種事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：1,027,546千円 決算額：930,453千円】

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上と健康増進を図った。

① 定期予防接種実施状況

(単位：人)

| 種 別 | 区 分 | 接種人員 | |
|----------------------------|--------|----------|-------|
| 四種混合 | 乳幼児第1期 | 1回目 | 2,287 |
| | | 2回目 | 2,285 |
| | | 3回目 | 2,319 |
| | | 追加 | 2,483 |
| | | 計 | 9,374 |
| 三種混合 | 乳幼児第1期 | 1回目 | 2 |
| | | 2回目 | 1 |
| | | 3回目 | 0 |
| | | 追加 | 1 |
| | | 計 | 4 |
| ジフテリア及び破傷風第2期 | | 2,493 | |
| BCG | | 2,297 | |
| 急性灰白髄炎 (不活化ポリオ) | 乳幼児 | 1回目 | 0 |
| | | 2回目 | 0 |
| | | 3回目 | 1 |
| | | 追加 | 5 |
| | | 計 | 6 |
| 麻しん風しん混合第1期 | | 2,397 | |
| 麻しん風しん混合第2期 | | 2,650 | |
| 風しん第5期 (風しん抗体検査数3,986件) | 成人男性 | 麻しん風しん混合 | 729 |
| | | 風しん単独 | 53 |
| 日本脳炎 | 第1期 | 1回目 | 2,652 |
| | | 2回目 | 2,629 |
| | | 追加 | 2,773 |
| | | 小計 | 8,054 |
| | 第2期 | 3,231 | |
| 計 | | 11,285 | |
| ヒブ (Hib) | 乳幼児 | 1回目 | 2,254 |
| | | 2回目 | 2,181 |
| | | 3回目 | 2,144 |
| | | 追加 | 2,186 |
| | | 計 | 8,765 |
| 小児用肺炎球菌 | 乳幼児 | 1回目 | 2,280 |
| | | 2回目 | 2,276 |
| | | 3回目 | 2,253 |
| | | 追加 | 2,297 |
| | | 計 | 9,106 |

| 種 別 | 区 分 | 接種人員 | |
|-----------------------|----------------------------------|------|--------|
| ヒトパピローマ ウイルス (HPV) | 中学生 高校生 | 1回目 | 17 |
| | | 2回目 | 13 |
| | | 3回目 | 14 |
| | | 計 | 44 |
| 水痘 | 乳幼児 | 初回 | 2,379 |
| | | 追加 | 2,250 |
| | | 計 | 4,629 |
| B型肝炎 | 乳幼児 | 1回目 | 2,259 |
| | | 2回目 | 2,244 |
| | | 3回目 | 2,174 |
| | | 計 | 6,677 |
| 高齢者インフルエンザ | 65歳以上 | | 60,313 |
| | 60歳以上65歳未満 (厚生労働省令) | | 65 |
| | 計 | | 60,378 |
| 高齢者肺炎球菌 | 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳 | | 3,814 |
| | 60歳以上65歳未満 (厚生労働省令) | | 2 |
| | 計 | | 3,816 |

- 注 1) 日本脳炎予防接種は平成17年5月ワクチンによる副反応のため、厚生労働省の勧告により、特別な場合を除き積極的な接種勧奨を見合わせていた。平成21年6月から1期の一部接種再開、平成22年4月から1期の全面接種再開、平成22年7月から2期接種の再開、経過措置 (①平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの人で、20歳未満の人は未接種分が可能。②平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの人は、9歳から13歳未満の間に1期未接種分が可能。)にて、対象年齢の拡大を行った。
- 2) 平成24年11月1日から四種混合ワクチン (三種混合と不活化ポリオワクチンの混合) が導入
- 3) 平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌、ヒトパピローマウイルスワクチンが定期接種となる。ヒトパピローマウイルスワクチンについては、ワクチンが原因と思われる副反応症状が国へ複数報告されたため、平成25年6月から積極的な接種勧奨が控えられた。
- 4) 平成25年度から、長期病気治療のために規定の定期年齢内で接種できなかった人が、一定の条件範囲で定期接種として接種ができるようになった。
(表とは別に、B型肝炎1回2人・2回3人・3回8人、BCG5人、水痘初回1人・追加1人、麻しん風しん混合1期4人・2期3人の接種を行った。)
- 5) 平成26年10月1日から水痘と高齢者肺炎球菌が定期接種となる。高齢者肺炎球菌は令和5年度までの経過措置として、対象者の拡大が図られた。
- 6) 平成28年10月1日からB型肝炎が定期接種となった。
- 7) 平成31年度から3年間、風しん追加的対策として風しん抗体検査を行い、抗体の低い人に風しん5期が定期接種となった。

② 任意予防接種助成

(単位：人)

| 種 別 | 助成対象 | 接種人員 |
|--------------|--------------------------------------|-------|
| おたふくかぜ | 満1歳から4歳未満 | 2,998 |
| ロタ | 2回接種用：生後6週～24週0日 3回接種用：生後6週～32週0日 | 4,291 |
| 風しん単独(成人) | 市が実施する風しん抗体検査事業で、抗体価が低かった人 | 8 |
| 麻しん風しん混合(成人) | | 63 |

- 注 1) おたふくかぜについては、平成21年度から2歳から4歳未満児に、平成25年度から1歳児からに対象を拡大し一部助成を開始した。平成31年度から全額助成を行った。
- 2) 平成25年5月から、風しん流行の緊急対策で、風しん・麻しん風しん混合ワクチンの予防接種費用の一部助成を行った。平成26年4月から市が実施した風しん抗体検査事業で、抗体の低かった人に一部助成を実施した。
- 3) 平成28年4月から、ロタワクチンの予防接種費用の一部助成を実施した。

(2) 結核予防事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：6,804千円 決算額：3,850千円】

結核の新登録患者数、潜在性結核感染症患者数、年末時の登録患者数とも横ばい状態である。結核に対する正しい知識の普及啓発を行い、患者への治療支援活動、服薬支援事業(DOTS)、患者及び家族等に対する健康診断等を実施した。

① 登録患者数(年末数)

(単位：人)

| 区分 | | 年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 |
|----------------------|-------|---|-------|-------|-------|-------|------|
| 登録患者数 | | | 72 | 79 | 30 | 26 | 22 |
| 新登録患者数 | | | 31 | 42 | 27 | 26 | 31 |
| (別掲) 潜在性 結核感染症 | 登録患者 | | 39 | 49 | 13 | 10 | 8 |
| | 新登録患者 | | 18 | 24 | 19 | 19 | 13 |

※登録患者数については、平成29年から、年末時点での内服治療中の人数を記載

② 勧告数

(単位：件)

| 区分 | 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----------|----|--------|--------|--------|--------|-------|
| 応急入院勧告 | | 16 | 28 | 14 | 13 | 17 |
| 就業制限 | | 20 | 33 | 16 | 18 | 23 |
| 本入院勧告 | | 16 | 23 | 14 | 13 | 16 |
| 本入院勧告の延長 | | 44 | 60 | 37 | 29 | 33 |

③ 訪問指導

(単位：人)

| 実人数 | DOTS(再掲) | 延人数 | DOTS(再掲) |
|-----|----------|-----|----------|
| 92 | 65 | 273 | 221 |

④ 接触者健康診断

(単位：人)

| 検査種別 | X線(喀痰検査) | QFT検査 | ツベルクリン反応検査 | その他 | 対象者(実人数) | 未受診(実人数) | 潜在性結核感染症治療開始 |
|------|----------|-------|------------|-----|----------|----------|--------------|
| 患者家族 | 5(1) | 35 | 0 | 0 | 41 | 1 | 0 |
| その他 | 41(0) | 85 | 0 | 3 | 127 | 1 | 0 |
| 合計 | 46(1) | 120 | 0 | 3 | 168 | 2 | 0 |

⑤ 管理検診 (単位：人)

| 対象者数 (実人数) | 保健所 (医師会委託) | その他 | 結果内訳 (実人数) | | | 未把握 (実人数) |
|---------------|----------------|-----|------------|-----|------|--------------|
| | | | 要治療 | 要観察 | 観察終了 | |
| 73 | 42 | 32 | 0 | 30 | 25 | 7 |

⑥ 結核予防週間のキャンペーンの実施 (9月24日～30日)

懸垂幕の掲揚、市広報及びホームページへの掲載、パンフレットの配布を行った。

⑦ 私立学校新入生定期健康診断補助金

結核の発生及びまん延の防止を図るため、市内に設置する大学、高等学校、高等専門学校、専修学校又は各種学校が実施する結核に係る定期健康診断に対して、費用の一部を補助した。

| 学校数 | 補助金額 |
|-----|------------|
| 20校 | 1,498,200円 |

(3) 結核公費負担医療費給付事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：9,218千円 決算額：4,370千円】

感染症診査協議会(結核診査部会)を月2回開催し、感染性結核患者に対する感染防止の措置(就業制限「18条」・入院勧告「20条」)、入院患者の医療費の公費負担「37条」、外来治療患者の公費負担「37条の2」等について診査し、医療費を給付した。

① 感染症診査協議会(結核診査部会)診査状況

(単位：件)

| | 申請 件数 | 承認 件数 | 申 請 内 訳 | | | | | 合計 |
|---------|----------|----------|---------|-------|----|---------------|----|-----|
| | | | 新規 | (再登録) | 継続 | (医療内容 の変更) | 小計 | |
| 37条の2 | 65 | 63 | 42 | (0) | 23 | (1) | 65 | 107 |
| 18条・20条 | 42 | 42 | 10 | 0 | 32 | 0 | 42 | |

② 結核公費負担医療給付事業

| 区 分 | 金額 (円) |
|----------------------------|-----------|
| 結核入院患者に対する医療費給付 (法37条関係) | 3,708,903 |
| 結核一般患者に対する医療費補助 (法37条の2関係) | 620,662 |

※表の金額には手数料を含まない。

③ 結核指定医療機関

| | 平成30年度末 登録数 | 辞退数 | 指定数 | | 令和元年度末 登録数 |
|--------|----------------|-----|-----|----|---------------|
| | | | 新規 | 変更 | |
| 病院・診療所 | 275 | 9 | 7 | 2 | 273 |
| 薬局 | 187 | 4 | 7 | 15 | 190 |

(4) 感染症予防事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：9,663千円 決算額：10,020千円】

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に基づき、感染症発生動向の把握や分析による異常の早期把握、感染源の究明、二次感染防止の指導等を行った。

① 感染症発生届出状況

医師から感染症発生の届け出を受理し、二次感染防止のため、感染源及び感染経路解明の調査を行い、対策を講じた。また、感染症類型により状況は異なるが、健康診断、就業制限、入院勧告及び消毒等の措置を講じた。

<全数把握発生届出数>

(単位：件)

| 類型 | 疾病名（感染症名） | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----|--------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 二類 | 結核 | 48 | 64 | 48 | 46 | 50 |
| 三類 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 26 | 16 | 34 | 33 | 21 |
| 四類 | A型肝炎 | 0 | 1 | 2 | 2 | 5 |
| | E型肝炎 | 4 | 2 | 4 | 7 | 12 |
| | 回帰熱 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | ジカウイルス感染症 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | つつが虫病 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 |
| | デング熱 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 |
| | ライム病 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | レジオネラ症 | 10 | 7 | 4 | 11 | 14 |
| | レプトスピラ症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | エキノкокクス症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | マラリア | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 五類 | アメーバ赤痢 | 1 | 3 | 5 | 4 | 2 |
| | ウイルス性肝炎 | 0 | 2 | 0 | 3 | 2 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 13 | 3 | 1 | 13 | 4 |
| | 急性脳炎 | 3 | 4 | 2 | 3 | 0 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 1 | 2 | 6 | 4 | 4 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 2 | 2 | 3 | 6 | 5 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 7 | 7 | 4 | 7 | 10 |
| | ジアルジア症 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 25 | 21 | 13 | 19 | 17 |
| | 水痘（入院例） | 1 | 1 | 2 | 0 | 8 |
| | 梅毒 | 6 | 18 | 20 | 30 | 16 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| | 破傷風 | 1 | 1 | 3 | 0 | 2 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | 百日咳 | - | - | - | 12 | 41 |
| | 風しん | 0 | 0 | 0 | 8 | 2 |
| 麻しん | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定 | 新型コロナウイルス感染症 | - | - | - | - | 1 |

<措置数>

(単位：件)

| 区分 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 健康診断 | 54 | 46 | 58 | 66 | 31 |
| 就業制限 | 14 | 13 | 17 | 27 | 18 |
| 入院勧告 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 消毒 | 25 | 16 | 33 | 31 | 23 |

※結核に関する措置数を除く。

② 定点把握感染症発生動向調査

感染症法に基づく感染症発生動向調査の定点把握五類感染症は、週単位、月単位で情報収集・分析・情報提供し、流行の予測と予防対策に役立てようとするものであり、地方感染症情報センター（群馬県）及び中央感染症情報センター（厚生労働省）とのオンラインシステムにより報告を行った。

また、定点医療機関 52 回、月報の報告数は各定点から 12 回であった。

また、疑似症定点医療機関を選定し、随時情報の収集を行った。

<定点医療機関数>

(単位：カ所)

| 区分 | 小児科 | インフルエンザ | | 眼科 | STD (性感染症) | 基幹 |
|---------|-----|---------|----|----|---------------|----|
| | | 小児科 | 内科 | | | |
| 定点医療機関数 | 8 | 8 | 5 | 2 | 3 | 1 |

③ 行政検査依頼数

医療機関からの依頼により、必要に応じて群馬県衛生環境研究所、国立感染症研究所に検査を依頼した。

<検査依頼数>

(単位：件)

| 疾病名 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|---------------------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 腸管出血性大腸菌 感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 中東呼吸器症候群 (MERS) | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| オウム病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ジカウイルス感染症 | 0 | 6 | 0 | 6 | 3 |
| 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) | 1 | 1 | 3 | 0 | 1 |
| チクングニア熱 | 0 | 3 | 0 | 1 | 3 |
| つつが虫 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| デング熱 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 日本紅班熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 破傷風 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ライム病 | 0 | 3 | 0 | 5 | 3 |
| レプトスピラ症 | 0 | 7 | 3 | 0 | 0 |

④ インフルエンザ様疾患発生状況

管内におけるR1-2シーズンのインフルエンザ様疾患による集団発生報告（学級閉鎖報告）を地方感染症情報センター（群馬県）に行った。令和元年度の感染症発生動向調査の病原体定点からの検体数は26件で、うち23件が陽性だった（インフルエンザウイルスAH1pdm09型16件、AH3型7件）。

※検査は全て群馬県衛生環境研究所に依頼

<インフルエンザによる学級閉鎖等の状況>

| 年度 | 休校 | | 学年閉鎖 | | 学級閉鎖 | | 合計 | |
|------------|----|------|------|------|------|------|-----|------|
| | 校数 | クラス数 | 校数 | クラス数 | 校数 | クラス数 | 校数 | クラス数 |
| 27-28 シーズン | 1 | 7 | 33 | 69 | 107 | 198 | 141 | 274 |
| 28-29 シーズン | 0 | 0 | 27 | 58 | 109 | 187 | 136 | 245 |
| 29-30 シーズン | 2 | 37 | 24 | 45 | 163 | 306 | 189 | 388 |
| 30-31 シーズン | 0 | 0 | 24 | 43 | 101 | 198 | 125 | 241 |
| R1-2 シーズン | 1 | 9 | 14 | 26 | 78 | 117 | 93 | 152 |

⑤ 平常時感染症対策

給食従事者等を対象に定期検便（集団）及び一般検便を実施した。

※件数等は4試験検査業務（1）試験検査事業④0157等感染症平常時防疫に掲載

⑥ 麻しん・風しん対策

群馬県麻しん及び風しんの排除に向けた積極的疫学調査実施要領に基づいて、医療機関において麻しん及び風しん（疑いを含む）患者が受診した場合、患者の同意のもと、医療機関からの連絡を受け、積極的疫学調査（疫学調査及び麻しん・風しん遺伝子検査）を実施した。報告件数は13件だった。

⑦ 蚊媒介感染症対策

デング熱等蚊媒介感染症の予防対策としてポスター等を作成し、蚊の発生予防方法の普及を図った。蚊のモニタリング調査を、敷島公園で6月上旬から11月まで11回実施し、蚊媒介感染症に関する、人・蚊のリスク評価を行った。

⑧ その他の感染症対策

管外からの依頼による感染症患者の接触者調査等3件、嘔吐下痢症患者発生に伴う施設等からの相談について、消毒方法・二次感染防止等の指導、海外渡航者の健康相談を実施した。

⑨ 感染症予防研修会の開催

市内の高齢者及び障害者施設職員を対象として、「前橋市ノロウイルス予防研修会」を開催した。
<研修会の開催>

| 開催日 | 対象施設 | 参加人数 |
|---------------|---------------|------|
| 令和元年10月18日（金） | 市内の高齢者及び障害者施設 | 107人 |

⑩ 施設巡回指導

介護保険施設に対し、感染症予防のための施設及び維持管理体制整備や感染症対策マニュアルの作成等の技術的助言、衛生管理指導を行うことにより、施設の平常時からの感染対策の強化に向け、計画的・継続的な取り組みを支援し、感染症の集団発生を未然に防止する取り組みを行った。（8施設を実施）

(5) 特定感染症予防事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：6,081千円 決算額：3,775千円】

HIV等の特定感染症を早期に発見し、治療につなげ、まん延防止を図るため、相談・検査事業を実施した。また、キャンペーンやエイズ講演会を通して正しい知識の普及とエイズに対する理解や支援の拡大に努めた。

① エイズ相談・検査事業

エイズ・クラミジア・淋菌・梅毒・B型肝炎・C型肝炎について無料で検査・相談を実施した。
※毎週水曜日の午前9時から10時00分まで予約制で実施

<検査状況>

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 実施回数 | 48回 | 48回 | 43回 | 41回 | 46回 |
| HIV検査 | 293件 | 261件 | 247件 | 167件 | 198件 |
| クラミジア・淋菌 | 192件 | 196件 | 185件 | 216件 | 234件 |
| 梅毒 | 212件 | 223件 | 208件 | 146件 | 171件 |
| B型肝炎 | 211件 | 225件 | 201件 | 138件 | 166件 |
| C型肝炎 | 210件 | 224件 | 200件 | 138件 | 166件 |

② エイズ対策促進事業

市民に対してエイズ等感染症に関する知識の普及啓発を行い、エイズ対策の推進を図った。

○HIV検査普及週間のキャンペーンの実施（6月1日～7日）

6月4日には、検査・相談を追加して実施した。

○世界エイズデーのキャンペーンの実施（11月25日～12月16日）

懸垂幕の掲揚、検査・相談の時間枠を拡大して実施した。

前橋市立図書館において、高校生が作成したキルト・パネルの写真展示、ポスター掲示を行った。

○エイズ講演会の開催

平成31年度は、11月7日に前橋市立前橋高等学校で、日本赤十字社医療センターの医師を講師に招き「前橋市エイズ講演会」を開催した。

(6) 肝炎治療費等助成費申請受付事業及び群馬県がん・重度肝硬変治療研究促進事業

群馬県が実施する肝炎治療費等助成事業及び群馬県がん・重度肝硬変治療研究促進事業の申請等の受け付け及び相談を行った。

① 肝炎治療費等助成費申請受付事業進達数

(単位：件)

| 年度 | 区分 | 新規申請 | 還付申請 | 延長申請 | 変更申請 | 再交付申請 | 中止申請 | 取下げ申請 | 合計 |
|--------|----|------|------|------|------|-------|------|-------|-----|
| 平成27年度 | | 518 | 9 | 0 | 21 | 5 | 4 | 9 | 566 |
| 平成28年度 | | 302 | 10 | 0 | 16 | 0 | 0 | 3 | 331 |
| 平成29年度 | | 218 | 7 | 0 | 19 | 0 | 0 | 2 | 246 |
| 平成30年度 | | 179 | 3 | 0 | 6 | 0 | 2 | 4 | 194 |
| 令和元年度 | | 170 | 1 | 0 | 9 | 0 | 3 | 0 | 183 |

平成26年9月19日「感染症対策特別促進事業の実施について」の一部改正があり、C型慢性肝炎及びC型代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療が助成の対象となった。

② 群馬県がん・重度肝硬変治療研究促進事業進達数

(単位：件)

| 年度 | 区分 | 新規申請 | 還付申請 | 延長申請 | 変更申請 | 再交付申請 | 中止申請 | 取下げ申請 | 合計 |
|--------|----|------|------|------|------|-------|------|-------|----|
| 平成30年度 | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 令和元年度 | | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |

平成30年12月1日より群馬県がん・重度肝硬変治療研究促進事業の申請受付が開始となった。

衛生検査課

1 生活衛生業務

(1) 生活衛生指導事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：616千円 決算額：309千円】

営業六法（興行場法、公衆浴場法、旅館業法、理容師法、美容師法、クリーニング業法）をはじめ、墓地、埋葬等に関する法律、建築物における衛生的環境の確保に関する法律等に係る生活衛生指導を行い、適正な衛生水準の確保と向上に努めた。

① 営業六法関係施設

営業施設を対象に監視及び指導を行うとともに、衛生講習会を開催するなど営業施設における衛生管理の向上に努めた。

| 区分 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | |
|---------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|----|
| | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | |
| 興行場 | 7 | 2 | 7 | 2 | 7 | 2 | 7 | 2 | 7 | 1 | |
| 公衆浴場 | 一般 | 5 | 1 | 5 | 0 | 5 | 0 | 4 | 0 | 4 | 0 |
| | その他 | 33 | 7 | 36 | 8 | 39 | 3 | 40 | 11 | 39 | 19 |
| | 計 | 38 | 8 | 41 | 8 | 44 | 3 | 44 | 11 | 43 | 19 |
| 旅館 | ホテル | 38 | 18 | 36 | 21 | 35 | 21 | 36 | 22 | 85 | 27 |
| | 旅館 | 55 | 13 | 54 | 10 | 52 | 9 | 50 | 8 | | |
| | 簡易宿所 | 32 | 11 | 32 | 11 | 32 | 12 | 33 | 10 | 34 | 8 |
| | 下宿 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 125 | 42 | 122 | 42 | 119 | 42 | 119 | 40 | 119 | 35 |
| 理容所 | 372 | 88 | 369 | 69 | 367 | 70 | 364 | 75 | 365 | 81 | |
| 美容所 | 757 | 118 | 769 | 101 | 773 | 103 | 787 | 100 | 783 | 102 | |
| クリーニング所 | 一般 | 98 | 11 | 94 | 9 | 94 | 10 | 90 | 12 | 85 | 5 |
| | 取次 | 184 | 22 | 176 | 10 | 166 | 3 | 163 | 22 | 154 | 22 |
| | 計 | 282 | 33 | 270 | 19 | 260 | 13 | 253 | 34 | 239 | 27 |

※監視数には生活衛生アドバイザーによる営業施設巡回数を含む。

② その他の生活衛生営業施設

墓地、埋葬等に関する法律により、墓地等の経営について許可及び指導を行った。

また、大規模店舗、事務所等の特定建築物について関係法令に基づく衛生確保が図られるよう、施設への監視・指導を行った。

| 区分 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | |
|--------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|---|
| | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | 施設数 | 監視数 | |
| 墓地 | 3,114 | 0 | 3,114 | 7 | 3,115 | 2 | 3,113 | 0 | 3,113 | 0 | |
| 納骨堂 | 55 | 0 | 55 | 0 | 55 | 0 | 55 | 0 | 56 | 0 | |
| 火葬場 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | |
| 特定建築物 | 興行場 | 3 | 0 | 3 | 0 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | 0 |
| | 百貨店 | 3 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 |
| | 店舗 | 28 | 0 | 29 | 0 | 31 | 0 | 33 | 0 | 33 | 0 |
| | 事務所 | 64 | 2 | 64 | 0 | 64 | 1 | 64 | 1 | 64 | 0 |
| | 学校 | 5 | 0 | 5 | 0 | 5 | 1 | 5 | 1 | 5 | 0 |
| | 旅館 | 9 | 0 | 9 | 4 | 9 | 1 | 10 | 1 | 10 | 3 |
| | その他 | 16 | 2 | 16 | 1 | 16 | 0 | 16 | 0 | 16 | 1 |
| | 計 | 128 | 4 | 129 | 5 | 131 | 4 | 134 | 4 | 134 | 4 |
| 遊泳用プール | 19 | 6 | 19 | 3 | 19 | 0 | 19 | 2 | 19 | 0 | |

(2) 狂犬病予防事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：5,028千円 決算額：4,386千円】

狂犬病の発生予防とまん延防止のため、犬の登録及び狂犬病予防注射等の狂犬病予防対策を講じた。

| 年度 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 登録頭数 | 19,365 | 18,599 | 18,489 | 18,221 | 17,744 |
| 新規登録頭数 | 1,418 | 1,277 | 1,160 | 1,273 | 1,376 |
| 登録犬の死亡数 | 1,797 | 1,711 | 1,443 | 1,425 | 1,678 |
| 集合注射頭数 | 5,595 | 5,386 | 4,988 | 4,620 | 4,290 |
| 個別注射頭数 | 8,844 | 8,786 | 8,678 | 8,805 | 9,045 |
| 注射接種率 (%) | 74.56 | 76.19 | 73.91 | 73.67 | 75.15 |

(3) 動物愛護・管理推進事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：10,255千円 決算額：11,113千円】

① 動物愛護関係業務実施状況

動物の愛護及び管理に関する法律及び、前橋市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物愛護の普及・啓発や収容保護、引取りなどを行うとともに、適正飼養のための講習会及び犬猫の譲渡を行った。

<犬>

| 年度 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 引取頭数 | 5 | 6 | 10 | 11 | 9 |
| 収容頭数 | 343 | 250 | 251 | 233 | 191 |
| 返還頭数 | 95 | 84 | 82 | 91 | 70 |
| 譲渡頭数 | 166 | 134 | 148 | 118 | 97 |
| 殺処分頭数 | 102 | 36 | 27 | 27 | 15 |
| 負傷による収容頭数 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 |
| こう傷事故件数 | 13(2) | 21(1) | 11(1) | 9(0) | 6(0) |
| 苦情・相談処理件数 | 964 | 800 | 737 | 780 | 625 |

() 内数値は、未注射犬によるもの

<猫>

| 年度 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 引取頭数 | 185 | 169 | 218 | 399 | 294 |
| 譲渡頭数 | 113 | 63 | 96 | 108 | 57 |
| 殺処分頭数 | 62 | 154 | 164 | 332 | 297 |
| 負傷による収容頭数 | 31 | 44 | 37 | 44 | 53 |
| 苦情・相談処理件数 | 584 | 534 | 532 | 712 | 741 |

② 特定動物飼養保管の許可及び動物取扱業の登録

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物飼養保管の許可及び動物取扱業の登録業務を行った。

| 年度 区分 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------------------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 特定動物飼養保管許可 件数 | 4(1) | 10(6) | 11(1) | 10(0) | 11(2) |
| 動物取扱業登録件数 | 135(19) | 135(23) | 146(25) | 148(16) | 155(23) |

() 内数値は、新規登録数によるもの

③ 猫の去勢・不妊手術費補助事業

猫の飼い主に対し、去勢・不妊手術に要した費用の一部を補助した。

<補助金交付件数>

| 年度 区分 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 去勢手術 | 392 | 372 | 474 | 506 | 739 |
| 不妊手術 | 692 | 663 | 784 | 830 | 1,155 |

④ 長寿犬表彰

| 開催日及び開催場所 | 内 容 |
|--------------------------------------|---|
| 令和元年 10 月 6 日 (日) 前橋市第二コミュニティセンター | 表彰犬 50 頭 ※表彰の対象は、本市に登録のある満 17 歳以上 (大型犬は満 15 歳以上) の犬とその飼い主 |

※長寿犬表彰は、動物愛護フェスタ内で実施していたが、同フェスタが令和元年度から隔年開催となったため、単独で開催。

(4) 水道

市保健所では、専用水道、簡易専用水道並びに市小水道条例対象施設を所管している。

市小水道条例対象施設としては、小水道、専用小水道、専用自家水道があり、市条例に基づく指導を行っている。

| 年度 種別 | 平成 27 年度 | | 平成 28 年度 | | 平成 29 年度 | | 平成 30 年度 | | 令和元年度 | |
|----------|----------|-----|----------|-----|----------|-----|----------|-----|-------|-----|
| | 施設数 | 検査数 | 施設数 | 検査数 | 施設数 | 検査数 | 施設数 | 検査数 | 施設数 | 検査数 |
| 専用水道 | 11 | 1 | 11 | 2 | 10 | 1 | 11 | 1 | 12 | 1 |
| 簡易専用水道 | 512 | 2 | 511 | 4 | 510 | 7 | 512 | 5 | 510 | 5 |
| 小水道 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 専用小水道 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 |
| 専用自家水道 | 22 | 5 | 22 | 2 | 21 | 2 | 22 | 2 | 22 | 2 |

(5) スズメバチの巣駆除事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：3,009 千円 決算額：2,386 千円】

市民が安全に生活できるよう、刺されると危険なスズメバチの巣の駆除費用の一部を助成した。

<スズメバチの巣駆除実績>

| 年度 区分 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 駆除件数 | 391 | 547 | 455 | 311 | 467 |

2 食品衛生業務

(1) 食品衛生推進事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：5,587千円 決算額：5,292千円】

食中毒等食品に起因する健康被害の未然防止を図るため、食品衛生法等に基づく営業許可事務、これらの施設及び給食施設等に対する監視指導を行い、あわせて食品等の収去検査（別記：試験検査事業）を実施した。

また、食品表示法及び健康増進法に基づき、適正表示の推進を図った。

さらに、衛生講習会等を実施し、食品衛生関係営業者及び消費者等の衛生知識の普及向上に努めた。

① 食品衛生法に基づく業種別食品衛生許可施設数及び監視数

| 業種 | 施設数 | | | | 監視数 |
|-------------------|-------|------|------|-----|-------|
| | 営業 | 新規※1 | 継続※2 | 廃業 | |
| 飲食店営業 | 3,487 | 404 | 277 | 467 | 1,532 |
| 菓子製造業 | 434 | 66 | 38 | 72 | 322 |
| 乳処理業 | 4 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 特別牛乳さく取処理業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 乳製品製造業 | 10 | 0 | 0 | 0 | 21 |
| 集乳業 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 魚介類販売業 | 373 | 28 | 33 | 36 | 222 |
| 魚介類せり売り営業 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 魚肉ねり製品製造業 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 食品の冷凍又は冷蔵業 | 41 | 1 | 3 | 1 | 63 |
| 缶詰又は瓶詰食品製造業 | 3 | 0 | 1 | 1 | 7 |
| 喫茶店営業 | 455 | 30 | 69 | 69 | 214 |
| あん類製造業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| アイスクリーム類製造業 | 14 | 3 | 0 | 2 | 5 |
| 乳類販売業 | 270 | 13 | 37 | 20 | 45 |
| 食肉処理業 | 37 | 1 | 4 | 1 | 47 |
| 食肉販売業 | 393 | 39 | 34 | 39 | 253 |
| 食肉製品製造業 | 15 | 1 | 1 | 0 | 22 |
| 乳酸菌飲料製造業 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 食用油脂製造業 | 3 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| マーガリン又はショートニング製造業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| みそ製造業 | 6 | 0 | 2 | 0 | 4 |
| 醤油製造業 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ソース類製造業 | 5 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 酒類製造業 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 豆腐製造業 | 24 | 1 | 1 | 1 | 34 |
| 納豆製造業 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| めん類製造業 | 44 | 2 | 3 | 3 | 37 |
| そうざい製造業 | 119 | 4 | 17 | 4 | 106 |
| 添加物製造 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 食品の放射線照射業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 清涼飲料水製造業 | 12 | 1 | 1 | 0 | 26 |
| 氷雪製造業 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 氷雪販売業 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 5,772 | 595 | 522 | 716 | 2,998 |

② 前橋市食品衛生に関する条例に基づく業種別食品衛生許可施設数及び監視数

| 業種 | 施設数 | | | | 監視数 |
|---------|-----|------|------|----|-----|
| | 営業 | 新規※1 | 継続※2 | 廃業 | |
| 食品製造業 | 52 | 3 | 7 | 4 | 37 |
| 食品販売業 | 13 | 1 | 1 | 3 | 13 |
| 魚介類行商営業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 65 | 4 | 8 | 7 | 50 |

※1 新規 …食品衛生法により保健所長の許可を受けなければ営業することができないものが 34 業種、前橋市食品衛生に関する条例によるものが 3 業種あり、各営業について知事又は市長の定める営業施設の基準に適合するものに年限を定めて許可をした件数

※2 継続 …新規の許可を受けた営業者で許可期間満了後に引き続き営業を継続する者に対して、継続許可をした件数

③ 食中毒発生状況

| | 発生日 (初発) | 患者数 (人) | 死者数 (人) | 原因食品 | 原因物質 | 原因施設 | 発生要因 | 措置 |
|---|--------------------|------------|------------|---------------------------------------|--------|-----------|---------------------------|----------------------|
| 1 | 平成 31 年 4 月 6 日 | 23 | 0 | 平成 31 年 4 月 5 日 夜に当該施設で提 供された食品 | ノロウイルス | 飲食店 営業 | 調理従事者によ る二次汚染 (推 定) | 営業停止 (3 日間) |
| 2 | 令和元年 6 月 13 日 | 26 | 0 | 令和元年 6 月 12 日 に当該施設で提供 された食品 | ノロウイルス | 給食施設 | 調理従事者によ る二次汚染 (推 定) | 調理業務 停止 (3 日間) |

④ 収去検査

| 検体数 | 規格基準等違反数 | 衛生規範不適合数 |
|-----|----------|----------|
| 382 | 0 | 2 |

⑤ 健康増進法等に基づく給食施設の施設数及び監視数

| 施設区分 | 施設数 | 監視数 |
|----------|--------|--------|
| 学校 | 20 | 13 |
| 病院 | 22(7) | 20(7) |
| 介護老人保健施設 | 12 | 6 |
| 児童福祉施設 | 80 | 36 |
| 社会福祉施設 | 9 | 1 |
| 老人福祉施設 | 36 | 26 |
| 事業所 | 35 | 15 |
| 一般給食センター | 4 | 4 |
| 矯正施設 | 2(1) | 2(1) |
| その他 | 23 | 12 |
| 計 | 243(8) | 135(8) |

※ () 内数値は、管理栄養士必置施設数

⑥ 食品に係る営業施設の指導及び相談数

| 内容 | 件数 |
|--------------------|-------|
| 営業施設に関する苦情及び相談 | 269 |
| 食品表示相談 | 264 |
| 表示違反疑い通報 | 8 |
| 食品表示監視指導 (件数) | 2,390 |
| 収去品の表示調査 (品数) | 266 |
| 試買検査 (表示指導含む) (品数) | 30 |

⑦ 衛生講習会等実施数

| 内容 | 実施回数 | 参加人数 |
|------------------|------|-------|
| 食中毒予防及び食品表示講習会 | 38 | 2,422 |
| 食品安全講演会 | 1 | 274 |
| 給食施設研修会 | 1 | 129 |
| 親子食品衛生教室 | 1 | 5 |
| 食品の安全に関する意識アンケート | 3 | 513 |

3 試験検査業務

(1) 試験検査事業

【令和元年度予算決算状況 当初予算額：30,791千円 決算額：32,345千円】

市民の食生活の安全安心を確保するため、市内で流通又は生産している食品の規格基準等の検査や食中毒事案に係る病因物質検索のための検査及び感染症や特定感染症の発生を予防しその蔓延の防止を図るための検査を実施した。

① 食品等衛生検査（微生物学的検査）

食品衛生法に基づき、微生物学的検査用に収去された216件及び買上げ検体30件を検査した。このうち、衛生規範不適合2件（細菌数及び大腸菌群 各2件）が確認された。

<微生物学的検査>

| 食品名 | 検体数 | 細菌数 | 大腸菌群 | 大腸菌 | サルモネラ属菌 | 黄色ブドウ球菌 | 腸炎ビブリオ | 低温細菌数 | 乳酸菌数 | セレウス菌 | クロストリジウム属菌 | カンピロバクター属菌 | 腸管出血性大腸菌 | リステリア属菌 | アニサキス |
|-------------------|-----|--------|--------|-----|---------|---------|--------|-------|------|-------|------------|------------|----------|---------|-------|
| 魚介類 | 3 | - | - | - | - | - | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 凍結直前未加熱の加熱後摂取冷凍食品 | 9 | 9 | 9 | 9 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 凍結直前加熱の加熱後摂取冷凍食品 | 3 | 3 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 無加熱摂取冷凍食品 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 魚介類加工品※ | 4 | - | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 肉卵類及びその加工品※ | 20 | - | 5 | 5 | 5 | 5 | - | - | - | - | 5 | 5 | 15 | - | - |
| 牛乳 | 9 | 9 | 9 | - | - | - | - | 9 | - | - | - | - | - | - | - |
| 乳製品 | 5 | 1 | 3 | - | - | - | - | 1 | 2 | - | - | - | - | 2 | - |
| アイスクリーム類・氷菓 | 7 | 7 | 7 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 穀類及びその加工品※ | 12 | 12(1) | 6(1) | 6 | - | 12 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 野菜類・果物およびその加工品※ | 32 | 5 | 5 | 32 | - | 5 | 12 | - | - | - | - | - | 15 | - | - |
| 菓子類 | 6 | 6(1) | 6(1) | - | - | 6 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 清涼飲料水 | 10 | - | 10 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他の食品 | 126 | 126 | 84 | 126 | - | 126 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 246 | 178(2) | 151(2) | 181 | 5 | 154 | 15 | 10 | 2 | - | 5 | 5 | 30 | 2 | - |

() 内は不適合件数（内数）

※かん詰・びん詰を除く。

② 食品等衛生検査（理化学検査）

食品衛生法及び食品表示法に基づき、理化学検査用に収去された 166 件（委託 36 件を含む）を検査した。

| 食品名 | 検体数 | 添加物使用基準 | | | | | | | 抗生物質 《委託》 | 残留農薬 《委託》 | 水銀 《委託》 | 放射性物質 《委託》 | 動物用医薬品 | 乳等成分規格 | アレルギー | 指定外添加物 |
|-----------------------|-----|---------|-------|-----|--------|-----|-----|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|--------|--------|-------|--------|
| | | 保存料 | 品質保持剤 | 甘味料 | 小麦粉処理剤 | 発色剤 | 着色料 | 防かび剤 《委託》 | | | | | | | | |
| 魚介類 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 4 | - | - | - |
| 無加熱摂取冷凍食品 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - |
| 凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 凍結直前加熱の 加熱後摂取冷凍食品 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 魚介類加工品* | 13 | 13 | - | 5 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 肉卵類及び その加工品* | 17 | 5 | - | - | - | 5 | - | - | - | 3 | - | - | 9 | - | - | - |
| アイスクリーム類 ・氷菓 | 3 | - | - | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 穀類及び その加工品* | 24 | - | 12 | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | - | - | 7 | - |
| 野菜類・果物及び その加工品* | 31 | 15 | - | - | - | - | 12 | - | 5 | - | 6 | - | 6 | - | - | - |
| 菓子類 | 23 | 1 | - | 6 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | 3 | - | - | 8 5 |
| 清涼飲料水 | 15 | - | - | 10 | - | - | - | - | - | 2 | - | 3 | - | - | - | - |
| 酒精飲料 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | 4 | - | - | - | - | - | - | - |
| かん詰・びん詰 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - |
| その他の食品 | 16 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 15 | - |
| 牛乳 | 14 | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | - | - | 3 | 8 | - | - |
| 器具及び容器包装 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 166 | 34 | 12 | 24 | - | 7 | 12 | - | 10 | 6 | 12 | - | 18 | 16 | 8 | 30 5 |

() 内は不適合件数（内数）

*かん詰・びん詰を除く。

※微生物学的検査及び理化学検査の検査方法については「食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」に基づき作成した当所の標準作業書により実施した。また、業務管理（GLP）の一環として（一財）食品薬品安全センター秦野研究所の外部精度管理調査に参加した。

③ 食中毒等検査

食中毒や有症苦情の発生時には、原因究明のために喫食者や施設等の検査を実施した。原因菌検索の結果、黄色ブドウ球菌2事例、セレウス菌1事例、病原性大腸菌O143 1事例、病原性大腸菌O63 1事例、ノロウイルス4事例において検出された。

(単位：件)

| 年 度 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|--------|--------|--------|-------------|--------------|--------|-------|----|
| | | 食中毒菌 | ふき取り等 41 | ふん便、吐物 58 | 76 | 33 | 33 |
| ウイルス | ふき取り等 | — | 2 | 1 | — | 1 | |
| | ふん便、吐物 | 55 | 60 | 12 | 21 | 47 | |

④ O157等感染症平常時防疫

平常時の感染症予防対策として、給食従事者・水道従事者等を対象とする定期検便（集団）及び一般検便を実施した。

<腸内細菌培養検査> (単位：件)

| 対象者 | 件数 |
|------|-----|
| 給食 | 128 |
| 食品営業 | 184 |
| 水道 | 287 |
| その他 | 111 |
| 計 | 710 |

※検査項目：赤痢菌、サルモネラ属菌（腸チフス、パラチフスを含む）、腸管出血性大腸菌O157

⑤ 感染症発生時防疫

届出感染症患者等発生時には、患者関連の検査を行い、二次感染の予防及び早期発見に努めた。

<3類感染症届出に係る調査（腸内細菌培養検査）> (単位：件)

| 者 | 対象 | | |
|----------|----|------|----|
| | 本人 | 接触者等 | 計 |
| 赤痢菌 | — | — | — |
| 腸管出血性大腸菌 | 20 | 34 | 54 |
| コレラ菌 | — | — | — |
| パラチフスA菌 | 6 | 3 | 9 |

【分離菌数】

腸管出血性大腸菌 O157 5件
パラチフスA菌 2件

<4類感染症届出に係る調査> (単位：件)

| 項目 | 対象 |
|----|------|
| | 浴槽水等 |

⑥ 特定感染症

H I V、H C V等の早期発見及び早期治療に結びつけるための検査を実施した。

<検査検体数>

(単位:件)

| 年 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------------|----------|----------|----------|----------|-------|
| H I V抗体検査 | 293 | 261 | 247 | 167 | 198 |
| 梅毒抗体検査 | 212 | 223 | 208 | 146 | 171 |
| H B s 抗原検査 | 211 | 225 | 201 | 138 | 166 |
| H C V抗体検査 | 210 | 224 | 200 | 138 | 166 |

⑦ 苦情検査

苦情等による食品の異物検査を行っている。

(単位:件)

| | | 検体数 | 異物検査 | 毒物検査 |
|-----|------------|-----|------|------|
| 食 品 | 魚介類加工品 | — | — | — |
| | 肉卵類及びその加工品 | — | — | — |
| | 酒精飲料 | — | — | — |
| | かん詰・びん詰 | 1 | 1 | — |
| | その他の食品 | — | — | — |
| 計 | | 1 | 1 | — |

⑧ 家庭用品試験検査

市内で販売されている繊維製品のホルムアルデヒドについて検査したところ、有害物質を含有する家庭用品の規格基準に全て適合していた。

(単位:件)

| 検体名 | 検査項目 | 検体数 |
|---------------------------|----------|-----|
| 繊維製品 (出生後 24 月以内の乳幼児用のもの) | ホルムアルデヒド | 10 |